

## 感染症週報

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に  
基づく感染症発生動向調査より

## 目 次

1 発生動向総覧	P1～5
2 保健所別の警報状況	P6
3 指定届出機関からの特記事項欄コメント	P7
4 全数把握感染症集計表	P8
5 定点把握感染症集計表	P9～13
6 定点把握感染症推移グラフ	P14～18
7 定点把握感染症集計表(月報)	P19～22
8 定点把握感染症推移グラフ(月報)	P23～24
9 本県の新型コロナ及びインフルエンザの感染状況の 推移等のグラフ	P25～29
10 新型コロナ変異株ゲノム解析結果について	P30～31

(参考)

新型コロナウイルス感染症に関する情報は、P2、P8～10、P12、P15、  
P24～26、P29～30に掲載しています。

# 1 発生動向総覧

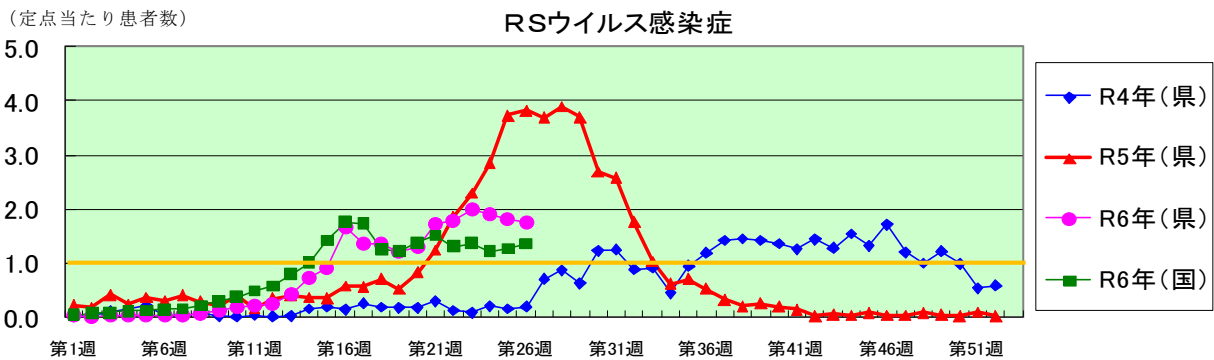
## RSウイルス感染症が県内で流行しています

(2024年第16週(4/15～4/21)から10週連続で1以上が継続中)

県感染症管理センターでは、RSウイルス感染症の定点医療機関あたりの1週間の患者数が1以上になると、確実に流行していると考えています。2023年は、第21週(5/22～5/28)に1以上となりましたが、今年は5週早く、2024年第16週(4/15～4/21)から、1以上となっています。過去には、いったん1以上となると、11～18週間1以上の流行が続いています。

RSウイルス感染症は、咳・くしゃみの飛沫感染や鼻水・唾液の接触感染で感染し、症状は発熱、鼻汁、咳嗽、喘鳴です。

年長児や成人では、軽いかぜ症状ですむ場合が多いですが、乳児や基礎疾患のある高齢者が感染した場合は急性細気管支炎や肺炎となり、呼吸困難で入院する場合があります。咳・鼻水の症状のある方はマスクをし、手洗いを励行しましょう。

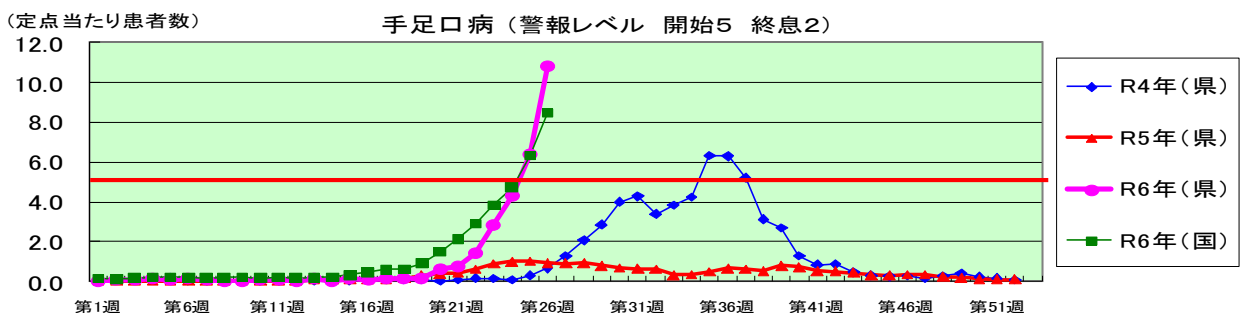


## 手足口病が全国的に流行しています (2年ぶりの警報レベル)

手足口病は、エンテロウイルス属による、乳幼児を中心に手や足、口腔粘膜などに現れる水疱性の発疹を主症状とした感染症です。

2024年25週(6/17～6/23)の定点当たり患者数は6.4となり、「警報レベル」(基準値5)となりました。第26週(6/24～6/30)は10.84と患者数が急増しています。全国的にも、同様に患者数が急増しており(全国の第26週の定点当たり患者数8.45)、今後、さらに流行が拡大する可能性が考えられますので、感染予防に努めましょう。

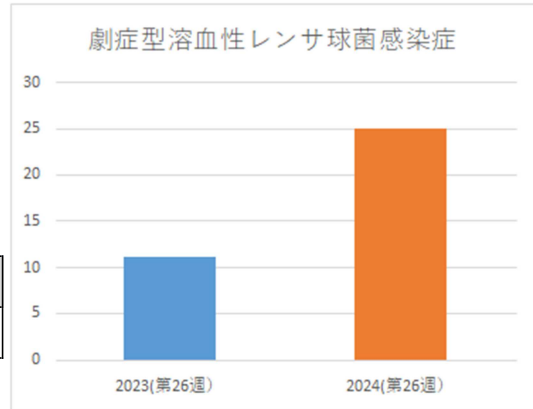
患者の多くが2歳以下の乳幼児ですが、大人でも感染することがあります。口からの飛沫感染、便や水疱内容物からの接触感染などがありますので、手洗いを徹底するとともに、排泄物を適切に処理することが大切です。



## 昨年同期と比べて増加している感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症

発熱や腕・足の腫れから、多臓器不全に進行する場合があります。手指衛生や、咳エチケット、傷口の清潔な処置といった、基本的な感染防止対策を励行しましょう。

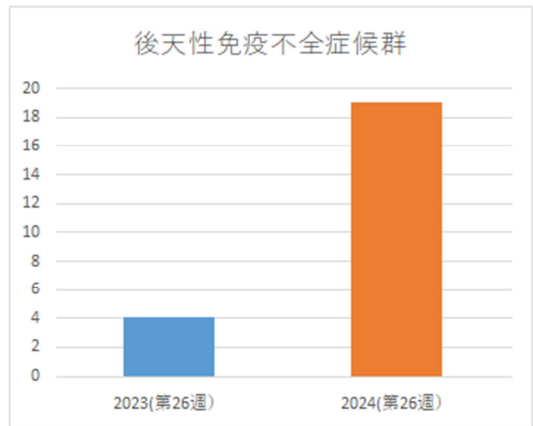
2023(第26週)	2024(第26週)	増加率	2023 (年間)
11	25	227%	27



## 後天性免疫不全症候群

HIVによる免疫不全により、適切な治療が施されないと重篤な全身性免疫不全により日和見感染症や悪性腫瘍を引き起こします。性行為による感染が最も多く、予防にはコンドームを正しく使うことが有効です。

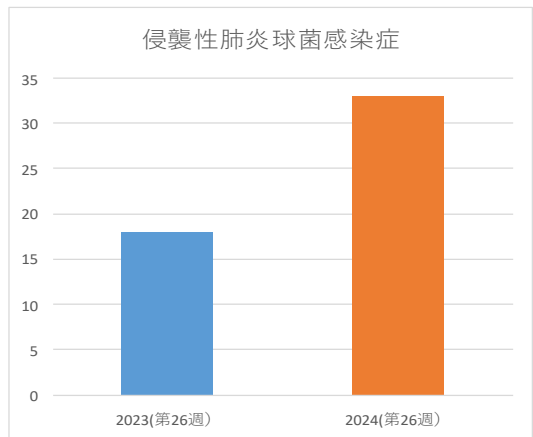
2023(第26週)	2024(第26週)	増加率	2023 (年間)
4	19	475%	17



## 侵襲性肺炎球菌感染症

肺炎球菌により、髄膜炎や、菌血症を伴う肺炎、敗血症を起こすことがあり、小児や高齢者を中心に患者報告があります。予防にはワクチン接種が有効で、小児と高齢者で定期接種となっています。

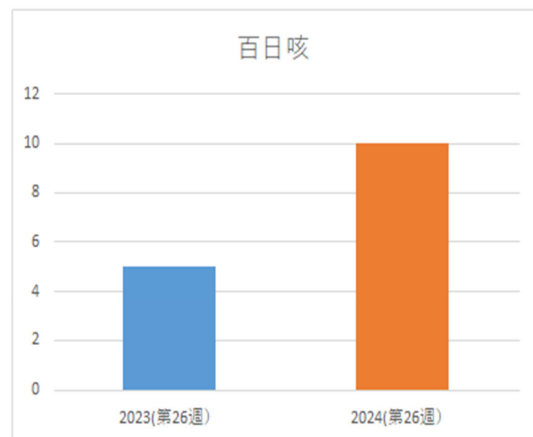
2023(第26週)	2024(第26週)	増加率	2023 (年間)
18	33	183%	39



## 百日咳

主に百日咳菌による感染症で、新生児や乳児が感染した場合、重症化しやすく、死亡する場合があります。予防には、手指衛生や、咳エチケットといった基本的な感染防止対策に加え、ワクチン接種が有効で、小児の定期接種となっています。

2023(第26週)	2024(第26週)	増加率	2023 (年間)
5	10	200%	10

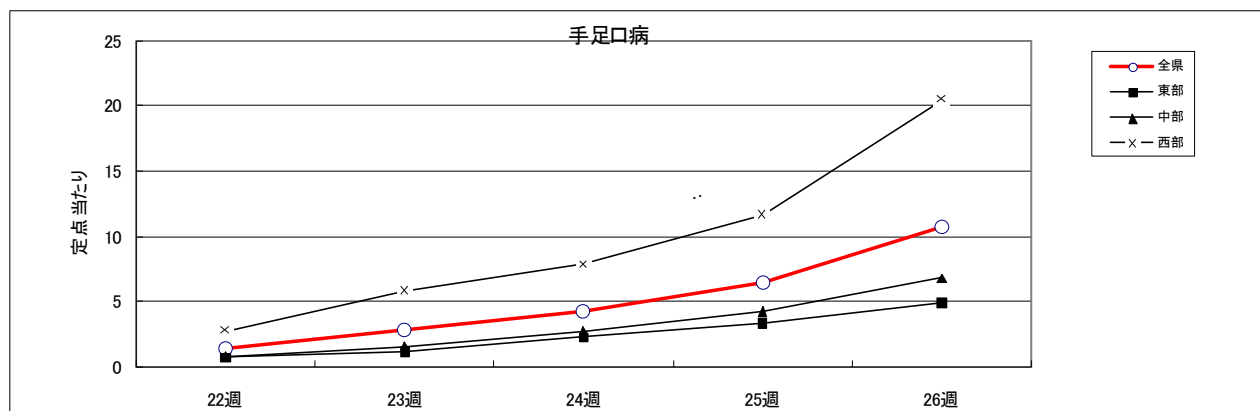


## 【今週のコメント】

第26週(6/24～6/30)の感染症発生動向調査では、静岡県内の手足口病の定点当たり報告数が10.72人となり前週の6.4人から増加し、2週連続で警報レベルの5を越えました。新型コロナの定点当たり報告数は5.25人となり、前週の4.54人から増加しています。

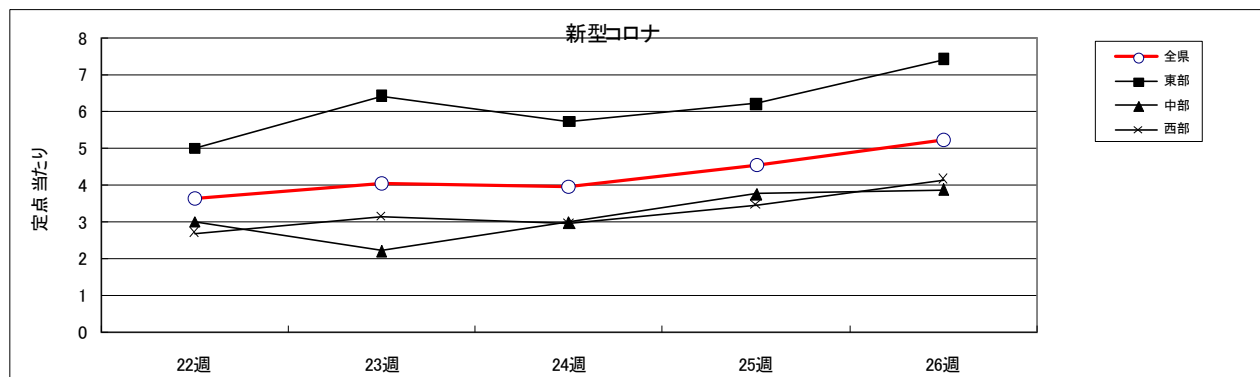
### 【手足口病】

全県で罹患数 954、定点当たり 10.72 の患者発生があり、前週の 6.4 から増加した。定点当たり東部地区で 4.88、中部地区で 6.81、西部地区で 20.47 の患者が発生した。



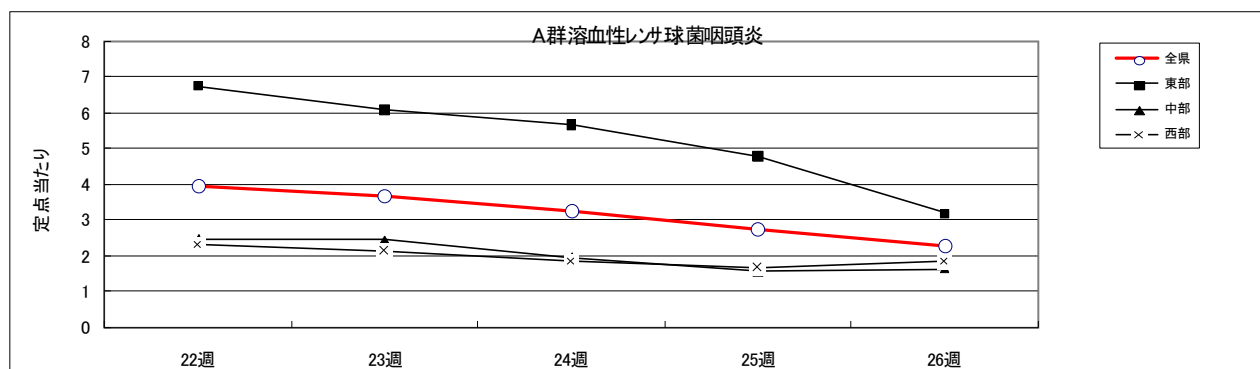
### 【新型コロナ】

全県で罹患数 730、定点当たり 5.25 の患者発生があり、前週の 4.54 から増加した。定点当たり東部地区で 7.44、中部地区で 3.88、西部地区で 4.15 の患者が発生した。



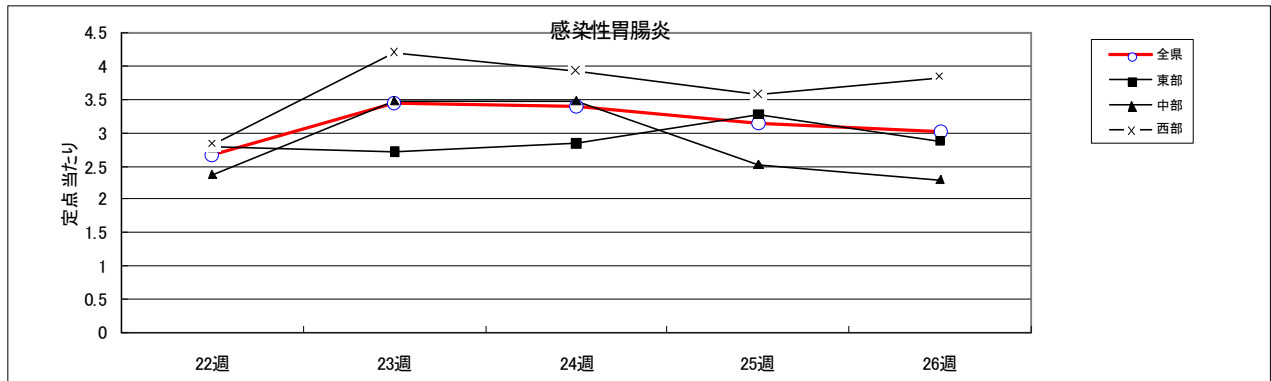
### 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

全県で罹患数 201、定点当たり 2.26 の患者発生があり、前週の 2.75 から減少した。定点当たり東部地区で 3.19、中部地区で 1.63、西部地区 1.83 での患者が発生した。



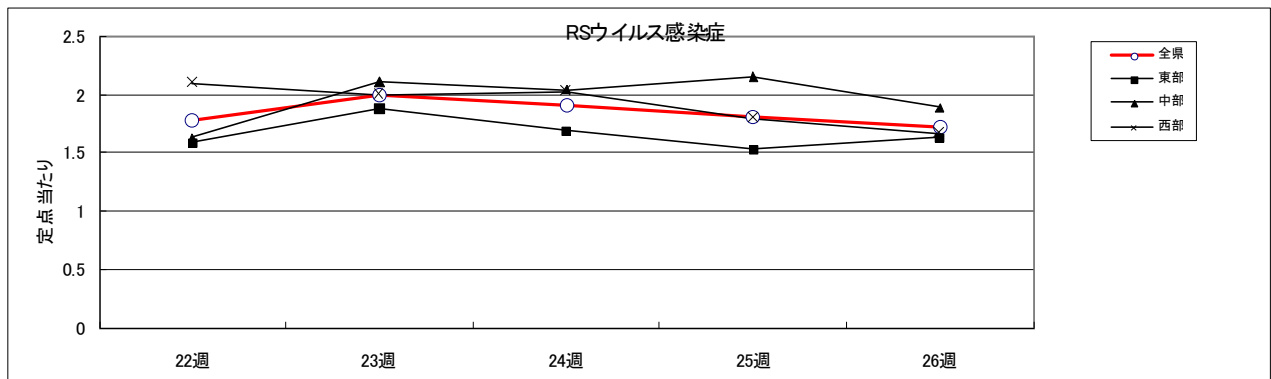
### 【感染性胃腸炎】

全県で罹患数 269、定点当たり 3.02 の患者発生があり、前週の 3.15 から減少した。定点当たり東部地区で 2.88、中部地区で 2.3、西部地区 3.83 の患者が発生した。



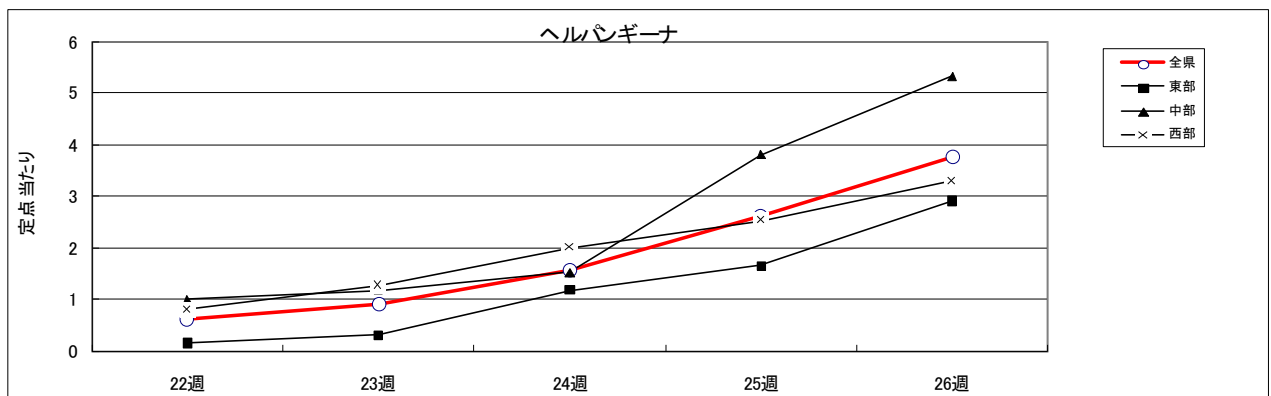
### 【RSウイルス感染症】

全県で罹患数 153、定点当たり 1.72 の患者発生があり、前週の 1.81 から減少した。定点当たり東部地区で 1.63、中部地区で 1.89、西部地区で 1.67 の患者が発生した。



### 【ヘルパンギーナ】

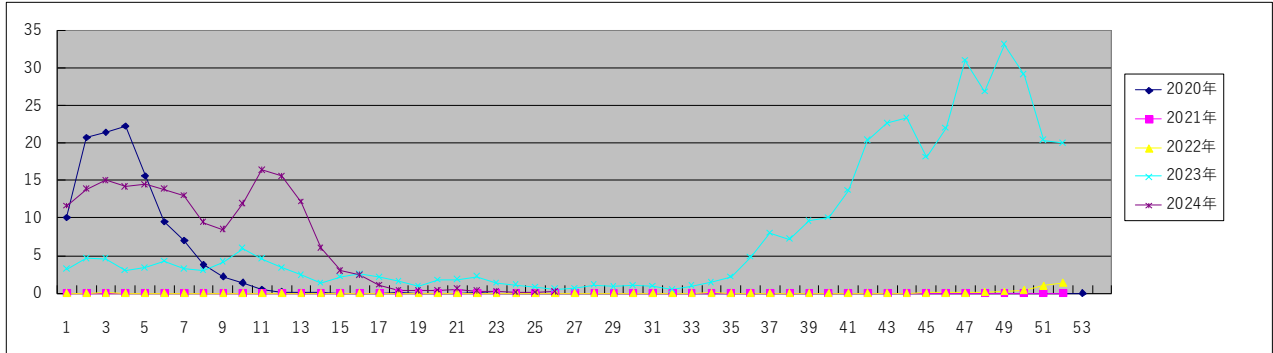
全県で罹患数 336、定点当たり 3.78 の患者発生があり、前週の 2.61 から増加した。定点当たり東部地区で 2.91、中部地区で 5.33、西部地区で 3.3 の患者が発生した。



- ・ 麻疹、風疹は患者発生なし。
- ・ 全国の新型コロナの定点当たりの患者報告数は 5.79 で前週の 4.61 から増加した。
- ・ 静岡県において第 26 週に定点当たり患者報告数の多かった疾病は、順に 1)手足口病 (10.72)、2) 新型コロナ (5.25)、3)ヘルパンギーナ(3.78)、4)感染性胃腸炎 (3.02)、5)A 群溶血性連鎖球菌咽頭炎(2.26)、 6)RSウイルス感染症(1.72)であった。

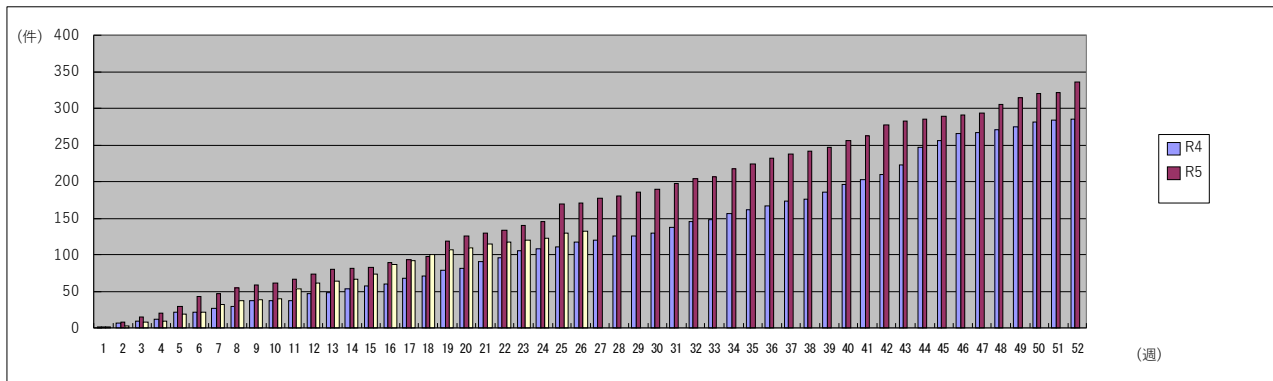
【インフルエンザ罹患数推移】

- ・ 第 26 週は全県で罹患数 25、定点当たり 0.18 であった。



【梅毒の発生状況(静岡県・累計)】

- ・ 第 26 週は前年同期比 0.77 倍であった。



## ◆全数届出の感染症

- 1類感染症 報告なし
- 2類感染症 結核(西部(1)、浜松市(1))
- 3類感染症 腸管出血性大腸菌感染症(中部(2))
- 4類感染症 レジオネラ症(中部(1)、浜松市(1))
- 5類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(浜松市(1))  
急性脳炎(浜松市(1))、侵襲性髄膜炎菌感染症(浜松市(1))  
梅毒(浜松市(1))、バンコマイシン耐性腸球菌感染症(浜松市(1))

## 2 保健所別の警報状況

- 警報 咽頭結膜熱(御殿場)  
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(御殿場)  
手足口病(東部、富士、中部、静岡市、西部、浜松市)  
ヘルパンギーナ(富士、中部)
- 注意報 新型コロナウイルス感染症(熱海)

### 警報・注意報・流行期入りの目安(新型コロナウイルス感染症以外)

区分	説明
警報レベル	大きな流行が発生または継続しつつあると疑われる
注意報レベル	流行の発生前:今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高い 流行の発生後:流行が継続していると疑われる
流行入りの目安 (インフルエンザのみ)	定点医療機関あたり患者数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられる

※1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

疾病	警報レベル		注意報レベル
	開始基準値	終息基準値	基準値
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-
感染性胃腸炎	20.0	12.0	-
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	-
伝染性紅斑	2.0	1.0	-
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

### 警報・注意報の目安(新型コロナウイルス感染症)

新型コロナウイルス感染症の警報・注意報の基準値は、静岡県が独自に設定しています。注意報レベルは、1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり200人以上となった水準を保健所ごとに設定し、感染者が急増するおそれがある状況を指します。警報レベルは、人口10万人当たり400人以上となった水準を設定し、感染者の増加が続き、医療のひっ迫のおそれがある状況を指します。国が基準値を設定するまでの間、暫定的にこの基準値に基づき注意喚起します。

新型コロナウイルス感染症(県独自)		
保健所名	注意報基準値	警報基準値
賀茂	13.0	26.0
熱海	9.0	18.0
東部	8.0	16.0
御殿場	17.0	34.0
富士	11.0	22.0
県東部地域	10.0	20.0
静岡市	6.0	12.0
中部	8.0	16.0
県中部地域	7.0	14.0
西部	10.0	20.0
浜松市	7.0	14.0
県西部地域	8.0	16.0
県全体	8.0	16.0



### 3 指定届出機関からの特記事項欄コメント

かわづクリニック(河津町)「丹毒 1名(10歳)、猩紅熱 1名(9歳)」

高野医院(伊東市)「新型コロナ 6名」

光ヶ丘小児科(三島市)「新型コロナ 6名、ノロ 1名、RS 3名、ヒトメタニューモ 2名、咽頭アデノ 5名」

よぞ小児科(沼津市)「新型コロナ 3名、溶連菌感染症 1名、アデノ咽頭炎 1名、手足口病 4名、ヘルパンギーナ 7名」

安田内科小児科医院(御殿場市)「新型コロナ 28名」

富士病院(御殿場市)「インフルエンザA型 1名」

たうち小児科医院(御殿場市)「マイコプラズマ 50名」

小川小児科内科医院(富士市)「インフルエンザA型 1名、新型コロナ 20名」

かどたこどもクリニック(静岡市)「ヒトメタニューモ 1名(1歳)」

浜松医療センター(浜松市)「便アデノ 1名」

クリニックパパ(浜松市)「咽頭アデノ 3名、ヒトメタニューモ 1名」

幸田子供クリニック(浜松市)「ヒトメタニューモ 1名」

天竜こども医院(浜松市)「咽頭アデノ 2名」



# 4 全数報告感染症集計表

2024年 第26週

疾患名	区分	静岡県						全国					
		第21週	第22週	第23週	第24週	第25週	今週	年累計	第23週	第24週	第25週	今週	年累計
エボラ出血熱	1類												
クリミア・コンゴ出血熱													
痘そう													
南米出血熱													
ペスト													
マールブルグ病													
ラッサ熱	2類												
急性灰白髄炎													
結核		5	5	8	5	4	2	172	275	248	271	263	7,538
ジフテリア													
重症急性呼吸器症候群(SARS)													
中東呼吸器症候群(MERS)													
鳥インフルエンザH5N1													
鳥インフルエンザH7N9													
コレラ													2
細菌性赤痢												2	23
腸管出血性大腸菌感染症	3類	1	1				2	11	63	60	71	89	989
腸チフス									1	1	2	1	20
パラチフス													4
E型肝炎	4類			1				4	11	13	6	10	273
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)													
A型肝炎								1	2	2	2	3	81
エキノкокクス症									1			1	6
エムボックス													14
賞熱													
オウム病													
オムスク出血熱													
回帰熱									1	2			5
キャサスル森林病													
Q熱													6
狂犬病													
コクシジオイデス症													1
ジカウイルス感染症													
重症熱性血小板減少症候群			1					2	2	8	2	5	75
腎臓膜性出血熱													
西部ウマ脳炎													
ダニ媒介脳炎											1	1	
炭疽	5類												
チクングニア熱													1
つつが虫病								2	3	1			99
デング熱								2	7		4	4	96
東部ウマ脳炎													
鳥インフルエンザ													
ニパウイルス感染症													
日本紅斑熱		1						4	16	12	7	12	165
日本脳炎													1
ハンタウイルス肺症候群													
Bウイルス病													
鼻疽													
ブルセラ症									1				2
ペネズエラウマ脳炎													
ヘンドラウイルス感染症													
発しんチフス													
ポツリヌス症													
マラリア										1		3	18
野兔病													
ライム病									2		3	2	11
リッサウイルス感染症													
リフトバレー熱													
類鼻疽													
レジオネラ症				1	2		2	22	34	70	42	33	911
レプトスピラ症									1				3
ロッキー山紅斑熱													
アムール赤痢								8	5	7	5	6	259
ウイルス性肝炎(A型肝炎及びE型肝炎を除く)								2	2	7	2	107	
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症						1	9	25	31	26	34	951	
急性弛緩性麻痺									1		1	18	
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎等を除く)						1	16	5	4	2	4	278	
クリプトスポリジウム症											1	13	
クロイツフェルト・ヤコブ病							1	3	1	2	3	82	
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1		1	2		25	32	31	33	33	1,144	
後天性免疫不全症候群				1	1		19	19	18	16	12	489	
ジアルジア症							1	1				18	
侵襲性インフルエンザ菌感染症							6	9	8	12	11	348	
侵襲性髄膜炎菌感染症							3	2	2	1	3	30	
侵襲性肺炎球菌感染症	1		1	1	3		33	53	46	36	25	1,453	
水痘(入院例に限る)	1				1		7	6	6	11	7	237	
先天性風しん症候群													
梅毒	3	3	1	3	6	1	132	222	190	165	187	6,772	
播種性クリプトコックス症			1				2		2	3	2	110	
破傷風							2	4			2	39	
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症													
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1				1	1	10		5	2	2	67	
百日咳		1	1	3			10	26	54	33	37	536	
風しん										1		3	
麻疹												24	
薬剤耐性アシネトバクター感染症								2				3	
新型インフルエンザ等感染症													

※次週以降に届出の追加や取り下げがあった場合、この表では、前週以前の届出数に反映されません。「今週」と「年累計」は、現時点での正しい届出数です。前週以前の届出数はその後、増減している可能性があります。

※令和5年5月26日から「サル痘」は「エムボックス」に、「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」は「カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症」に名称が変わりました。

## 5 定点把握感染症集計表

### 定点把握感染症集計表(届出数)

2024年 第 26 週

		静岡県						全国					
		第21週	第22週	第23週	第24週	第25週	今週	計	第23週	第24週	第25週	今週	計
小児科	RSウイルス感染症	152	158	177	170	161	153	971	4,308	3,830	3,970	4,263	16,371
	咽頭結膜熱	75	56	46	65	54	60	356	2,798	2,898	2,703	2,338	10,737
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	397	352	325	289	245	201	1,809	15,322	14,015	12,682	12,021	54,040
	感染性胃腸炎	297	238	307	303	280	269	1,694	15,276	14,754	13,314	12,838	56,182
	水痘	5	20	7	12	12	10	66	671	774	687	694	2,826
	手足口病	69	127	253	381	570	954	2,354	12,037	14,863	19,797	26,544	73,241
	伝染性紅斑	1	3	1			4	9	270	269	266	312	1,117
	突発性発しん	34	32	38	23	29	19	175	1,062	1,003	1,056	1,046	4,167
	ヘルパンギーナ	21	56	80	139	232	336	864	2,024	2,487	3,358	4,949	12,818
	流行性耳下腺炎	6	8	6	9	7	4	40	215	222	230	226	893
小・内	インフルエンザ	78	39	29	14	15	25	200	861	753	809	966	3,389
	新型コロナウイルス感染症	474	503	562	550	631	730	3,450	19,719	20,561	22,754	28,614	91,648
眼科	急性出血性結膜炎								25	38	34	24	121
	流行性角結膜炎	7	10	8	14	14	7	60	569	488	456	468	1,981
基幹	細菌性髄膜炎		1	1				2	12	7	10	19	48
	無菌性髄膜炎	1		1		2	1	5	19	15	20	23	77
	マイコプラズマ肺炎	1	2	1	2	5	6	17	120	153	192	187	652
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								2	1	2		5
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)								16	24	10	11	61

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねています。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

## 定点把握感染症集計表(定点当り患者数)

2024年 第 26 週

		静岡県					全国				
		第21週	第22週	第23週	第24週	第25週	今週	第23週	第24週	第25週	今週
小児科	RSウイルス感染症	1.71	1.78	1.99	1.91	1.81	1.72	1.37	1.22	1.27	1.36
	咽頭結膜熱	0.84	0.63	0.52	0.73	0.61	0.67	0.89	0.92	0.86	0.74
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.46	3.96	3.65	3.25	2.75	2.26	4.87	4.46	4.05	3.83
	感染性胃腸炎	3.34	2.67	3.45	3.40	3.15	3.02	4.86	4.70	4.25	4.09
	水痘	0.06	0.22	0.08	0.13	0.13	0.11	0.21	0.25	0.22	0.22
	手足口病	0.78	1.43	2.84	4.28	6.40	10.72	3.83	4.73	6.31	8.45
	伝染性紅斑	0.01	0.03	0.01			0.04	0.09	0.09	0.08	0.10
	突発性発しん	0.38	0.36	0.43	0.26	0.33	0.21	0.34	0.32	0.34	0.33
	ヘルパンギーナ	0.24	0.63	0.90	1.56	2.61	3.78	0.64	0.79	1.07	1.58
	流行性耳下腺炎	0.07	0.09	0.07	0.10	0.08	0.04	0.07	0.07	0.07	0.07
小・内科	インフルエンザ	0.56	0.28	0.21	0.10	0.11	0.18	0.17	0.15	0.16	0.20
	新型コロナウイルス感染症	3.41	3.62	4.04	3.96	4.54	5.25	3.99	4.16	4.61	5.79
眼科	急性出血性結膜炎							0.04	0.05	0.05	0.03
	流行性角結膜炎	0.32	0.45	0.36	0.64	0.64	0.32	0.82	0.70	0.66	0.67
基幹	細菌性髄膜炎		0.10	0.10				0.02	0.01	0.02	0.04
	無菌性髄膜炎	0.10		0.10		0.20	0.10	0.04	0.03	0.04	0.05
	マイコプラズマ肺炎	0.10	0.20	0.10	0.20	0.50	0.60	0.25	0.32	0.40	0.39
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0.00	0.00	0.00	-
	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)							0.03	0.05	0.02	0.02

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※定点当り患者数とは1週間の1医療機関当りの平均患者数です。(報告数÷定点医療機関数=定点当り患者数)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねています。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

## 保健所別定点把握感染症集計表(定点当り)

### 第 26 週 定点把握感染症 保健所別状況

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	153	1.72	60	0.67	201	2.26	269	3.02	10	0.11
賀茂	7	3.50			7	3.50	1	0.50		
熱海	4	1.00			6	1.50	19	4.75		
東部	18	1.38	15	1.15	35	2.69	27	2.08		
御殿場	5	1.25	16	4.00	42	10.50	34	8.50	3	0.75
富士	18	2.00	7	0.78	12	1.33	11	1.22	1	0.11
静岡市	34	2.13	8	0.50	28	1.75	34	2.13	1	0.06
中部	17	1.55	5	0.45	16	1.45	28	2.55	1	0.09
西部	28	2.33	6	0.50	36	3.00	28	2.33	2	0.17
浜松市	22	1.22	3	0.17	19	1.06	87	4.83	2	0.11

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	定点当り	罹患数	定点当り
総数	954	10.72	4	0.04	19	0.21	336	3.78	4	0.04
賀茂	3	1.50								
熱海	7	1.75							1	0.25
東部	76	5.85	4	0.31	4	0.31	27	2.08		
御殿場	7	1.75			1	0.25	4	1.00		
富士	63	7.00			4	0.44	62	6.89		
静岡市	121	7.56			2	0.13	67	4.19	1	0.06
中部	63	5.73					77	7.00		
西部	256	21.33			5	0.42	48	4.00	1	0.08
浜松市	358	19.89			3	0.17	51	2.83	1	0.06

保健所名	インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症				指定届出機関 (定点)数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	注意報基準値	警報基準値	小児科	内科
総数	25	0.18	730	5.25	8.0	16.0	89	50
賀茂			19	6.33	13.0	26.0	2	1
熱海	1	0.17	72	12.00	9.0	18.0	4	2
東部	4	0.20	84	4.20	8.0	16.0	13	7
御殿場	1	0.17	99	16.50	17.0	34.0	4	2
富士	2	0.13	98	6.53	11.0	22.0	9	6
静岡市	8	0.32	104	4.16	6.0	12.0	16	9
中部	8	0.47	59	3.47	8.0	16.0	11	6
西部			92	4.84	10.0	20.0	12	7
浜松市	1	0.04	103	3.68	7.0	14.0	18	10

\*新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類(定点把握対象)に追加されました。

## 保健所別定点把握感染症集計表(定点当り)

### 第 26 週      定点把握感染症   保健所別状況

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		7	0.32	0		1	0.10	6	0.60
賀茂										
熱海									5	5.00
東部			1	0.25						
御殿場										
富士			2	0.67			1	1.00	1	1.00
静岡市										
中部										
西部										
浜松市			4	1.33						

保健所名	クラミジア肺炎(オウム病は除く)		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		0	
賀茂				
熱海				
東部				
御殿場				
富士				
静岡市				
中部				
西部				
浜松市				

指定届出機関 (定点)数	
眼科	基幹
22	10
	1
	1
4	1
3	1
5	2
3	1
4	1
3	2

\*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

\*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

# 定点把握感染症年齢階級別集計表(届出数)

2024年 第 26 週

年齢階級区分(小児科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上	計						
RSウイルス感染症	15	19	63	30	14	7	3		1		1				153						
咽頭結膜熱	1	5	13	9	10	7	7	2		1		4	1		60						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	8	7	18	21	25	24	21	19	14	29	1	13	201						
感染性胃腸炎	2	11	24	22	32	30	31	16	15	16	19	33	5	13	269						
水痘			1	1					1		2	4	1		10						
手足口病	12	68	294	157	122	136	82	38	20	12	6	4		3	954						
伝染性紅斑				1	2								1		4						
突発性発しん		8	7	1	3										19						
ヘルパンギーナ	5	19	81	69	56	43	34	11	6	5	2	3	1	1	336						
流行性耳下腺炎							1	1			2				4						
年齢階級区分(小児科・内科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
インフルエンザ				1	2							2	1	2	3	4	5	1	3	1	25
新型コロナウイルス感染症	4	13	15	16	7	7	9	3	2	8	7	64	47	67	62	68	83	70	97	81	730
年齢階級区分(眼科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計	
急性出血性結膜炎																					
流行性角結膜炎								1				1	2	1		2					7
年齢階級区分(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計				
細菌性髄膜炎																					
無菌性髄膜炎																1					1
マイコプラズマ肺炎		2	1	1					1							1					6
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					

# 定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

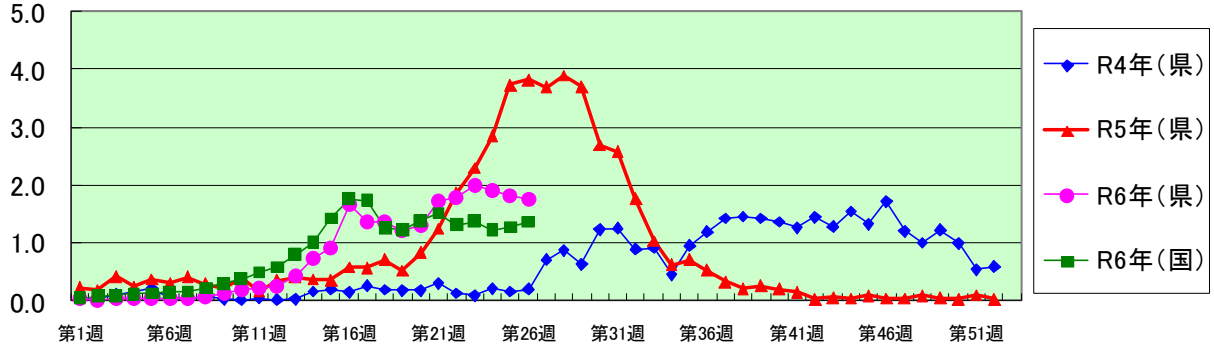
2024年 第 26 週

年齢階級区分(小児科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上	計						
RSウイルス感染症	0.17	0.21	0.71	0.34	0.16	0.08	0.03		0.01		0.01				1.72						
咽頭結膜熱	0.01	0.06	0.15	0.10	0.11	0.08	0.08	0.02		0.01		0.04	0.01		0.67						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.01	0.09	0.08	0.20	0.24	0.28	0.27	0.24	0.21	0.16	0.33	0.01	0.15	2.26						
感染性胃腸炎	0.02	0.12	0.27	0.25	0.36	0.34	0.35	0.18	0.17	0.18	0.21	0.37	0.06	0.15	3.02						
水痘			0.01	0.01					0.01		0.02	0.04	0.01		0.11						
手足口病	0.13	0.76	3.30	1.76	1.37	1.53	0.92	0.43	0.22	0.13	0.07	0.04		0.03	10.72						
伝染性紅斑				0.01	0.02							0.01			0.04						
突発性発しん		0.09	0.08	0.01	0.03										0.21						
ヘルパンギーナ	0.06	0.21	0.91	0.78	0.63	0.48	0.38	0.12	0.07	0.06	0.02	0.03	0.01	0.01	3.78						
流行性耳下腺炎							0.01	0.01			0.02				0.04						
年齢階級区分(小児科・内科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
インフルエンザ				0.01	0.01							0.01	0.01	0.01	0.02	0.03	0.04	0.01	0.02	0.01	0.18
新型コロナウイルス感染症	0.03	0.09	0.11	0.12	0.05	0.05	0.06	0.02	0.01	0.06	0.05	0.46	0.34	0.48	0.45	0.49	0.60	0.50	0.70	0.58	5.25
年齢階級区分(眼科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計	
急性出血性結膜炎																					
流行性角結膜炎								0.05				0.05	0.09	0.05		0.09					0.32
年齢階級区分(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計				
細菌性髄膜炎																					
無菌性髄膜炎																0.10					0.10
マイコプラズマ肺炎		0.20	0.10	0.10					0.10							0.10					0.60
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					

## 6 定点把握感染症推移グラフ

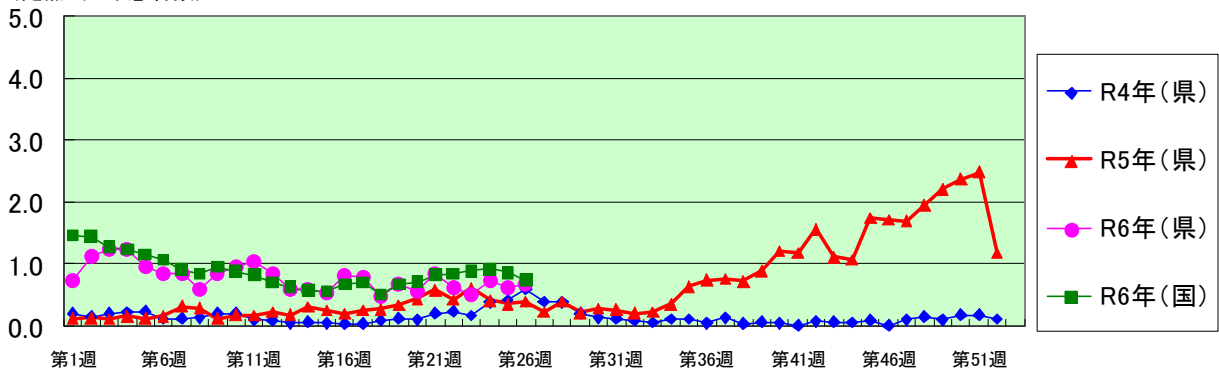
(定点当たり患者数)

RSウイルス感染症



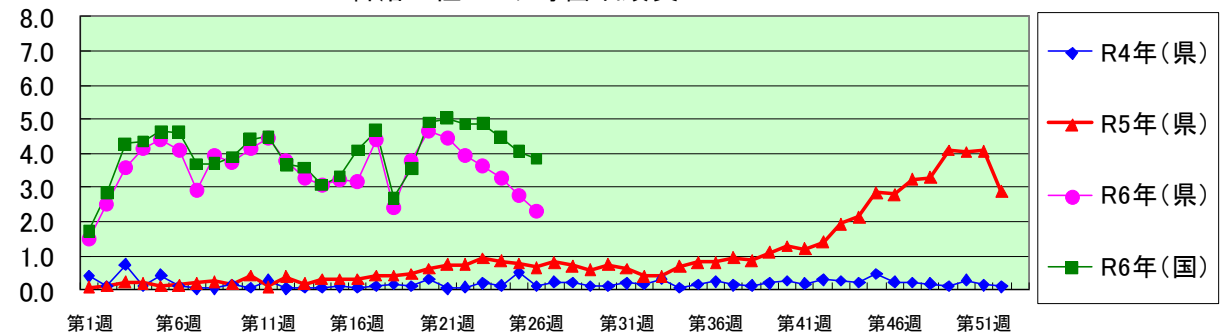
(定点当たり患者数)

咽頭結膜熱 (警報レベル 開始3 終息1)



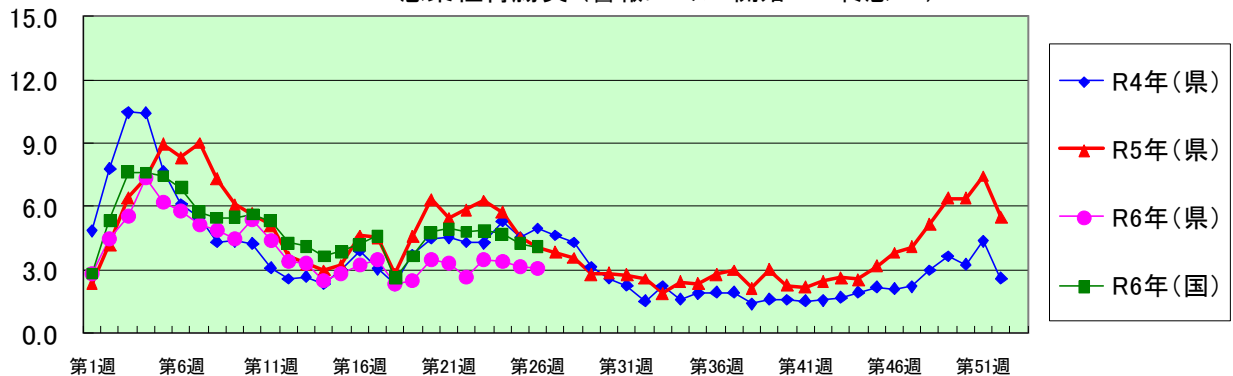
(定点当たり患者数)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (警報レベル 開始8 終息4)

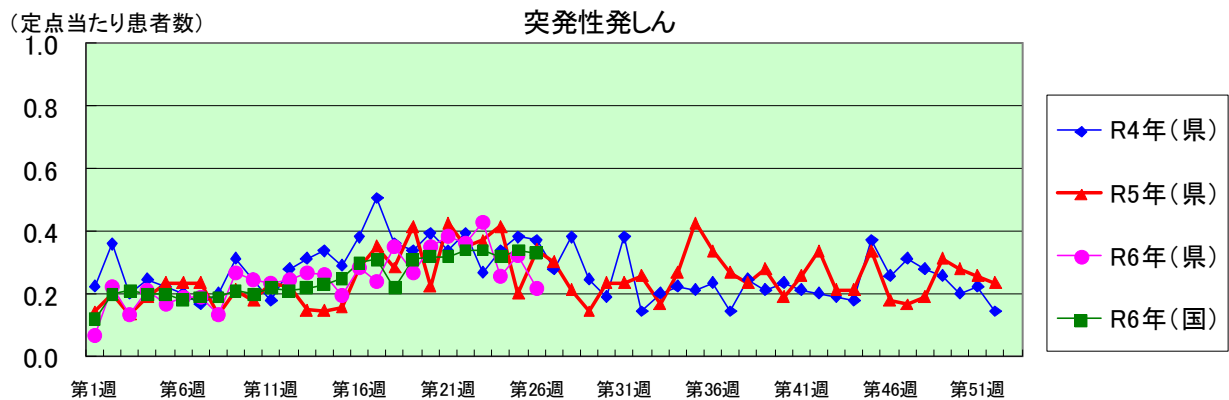
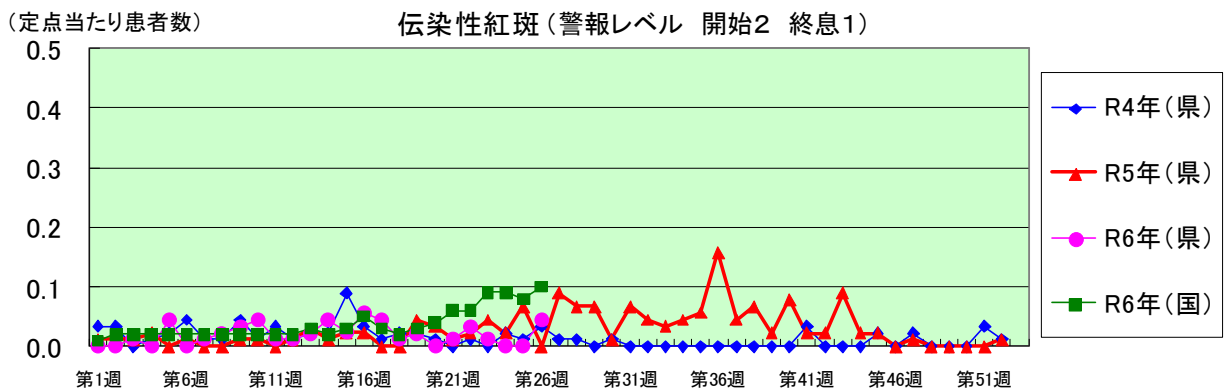
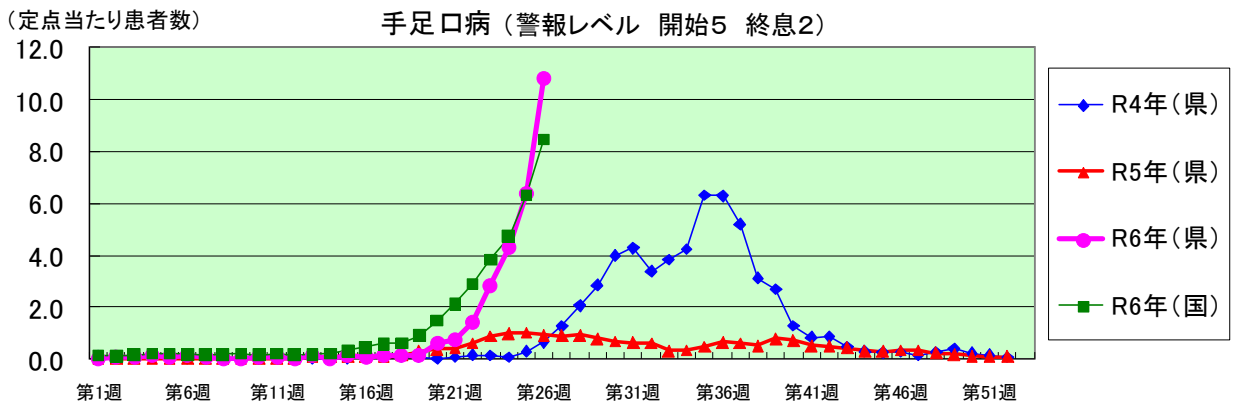
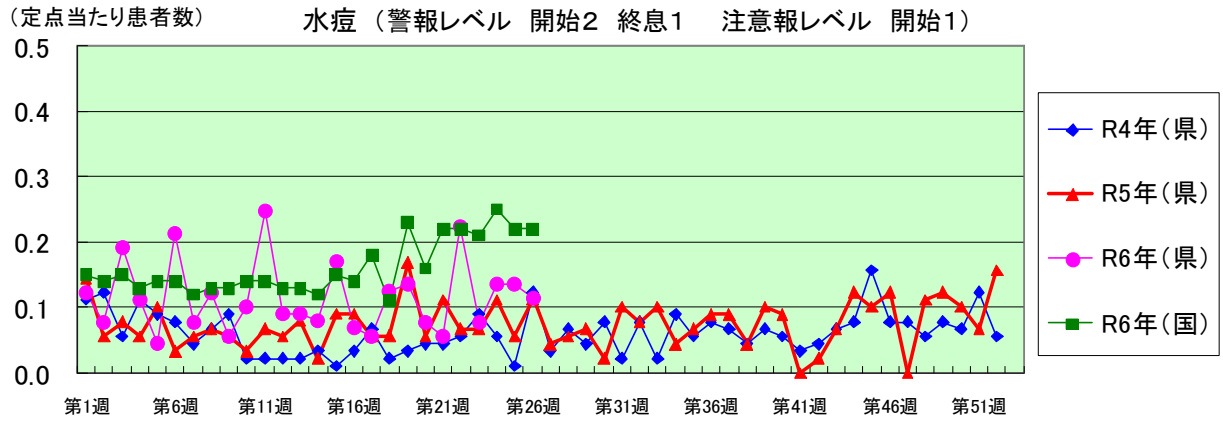


(定点当たり患者数)

感染性胃腸炎 (警報レベル 開始20 終息12)

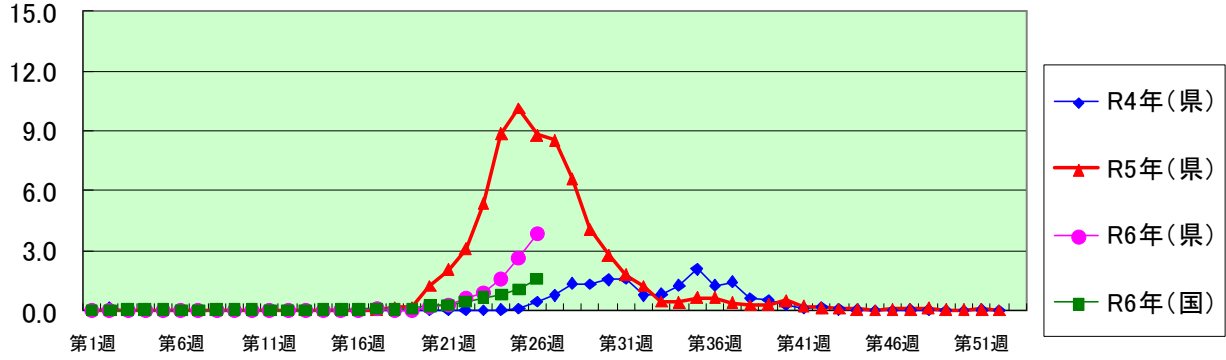






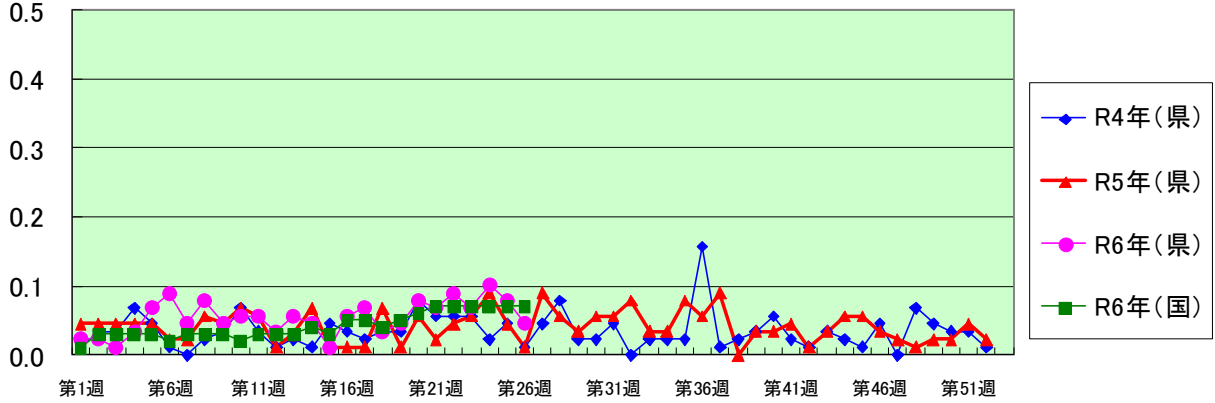
(定点当たり患者数)

### ヘルパンギーナ (警報レベル 開始6 終息2)



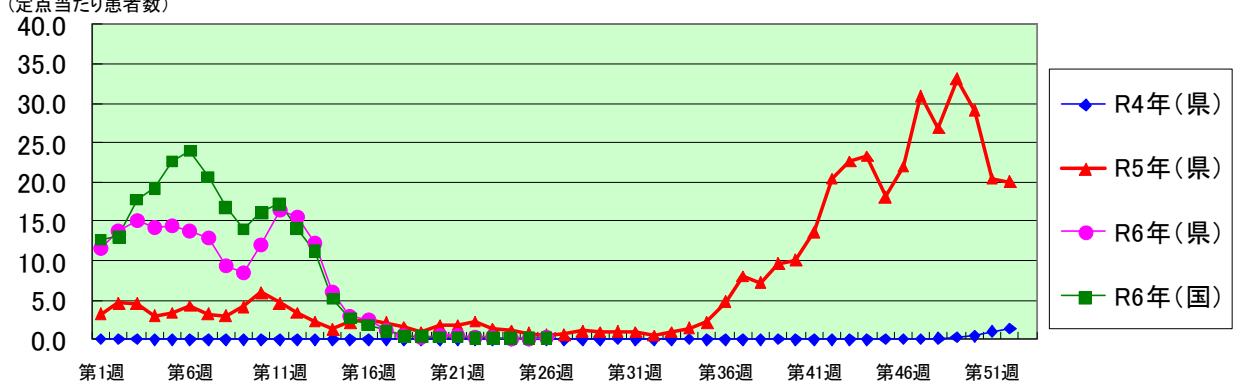
(定点当たり患者数)

### 流行性耳下腺炎 (警報レベル 開始6 終息2 注意報レベル 開始3)



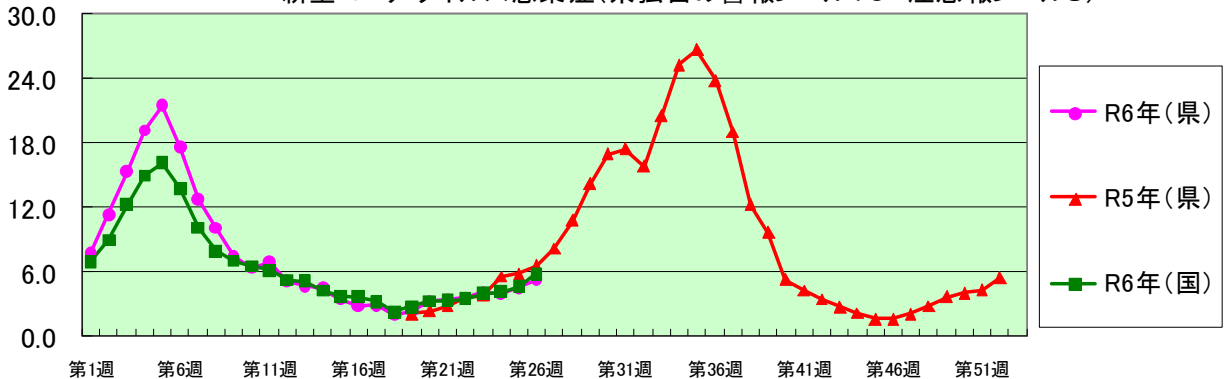
(定点当たり患者数)

### インフルエンザ (警報レベル 開始30 終息10 注意報レベル 開始10 流行開始の目安 1)



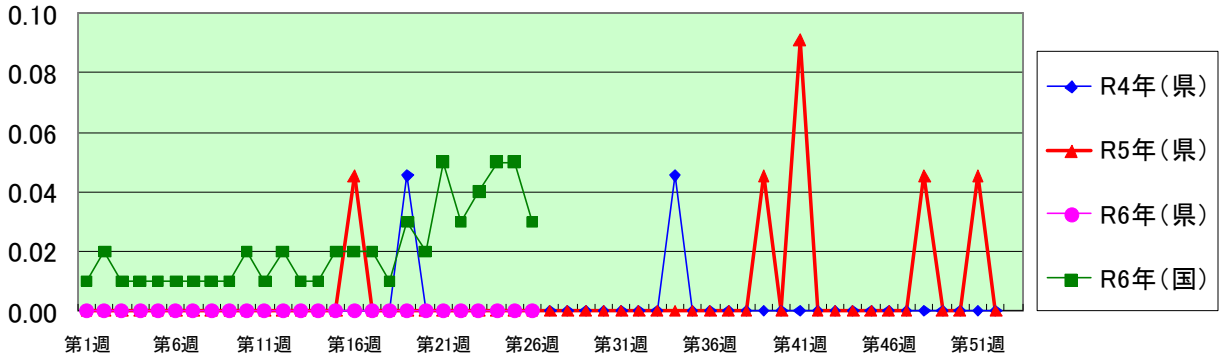
(定点当たり患者数)

### 新型コロナウイルス感染症(県独自の警報レベル16 注意報レベル8)



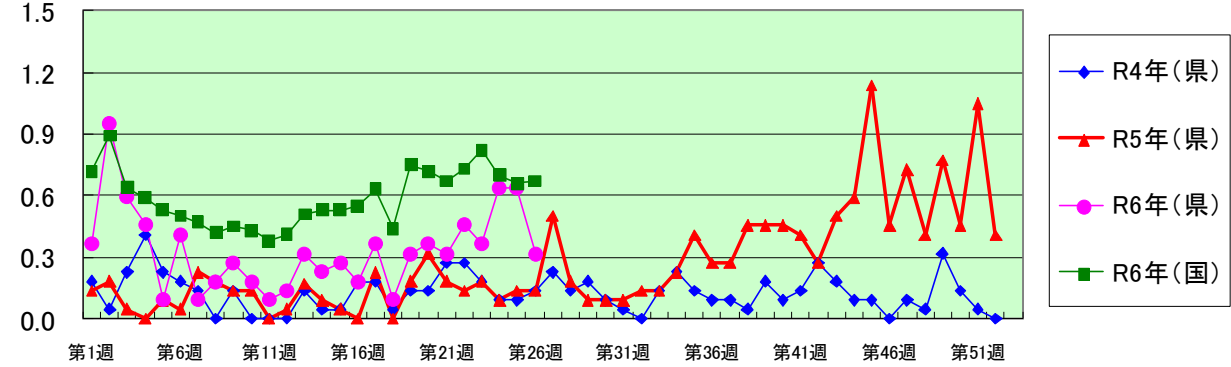
(定点当たり患者数)

### 急性出血性結膜炎 (警報レベル 開始1 終息0.1)



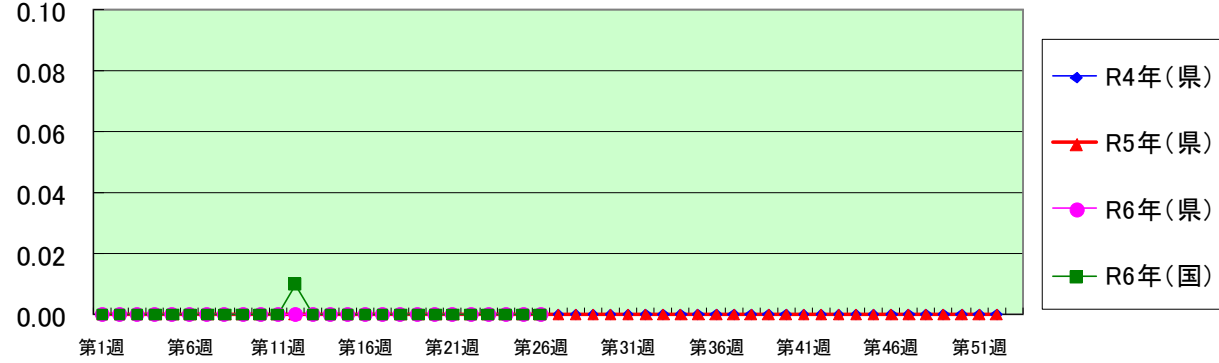
(定点当たり患者数)

### 流行性角結膜炎 (警報レベル 開始8 終息4)



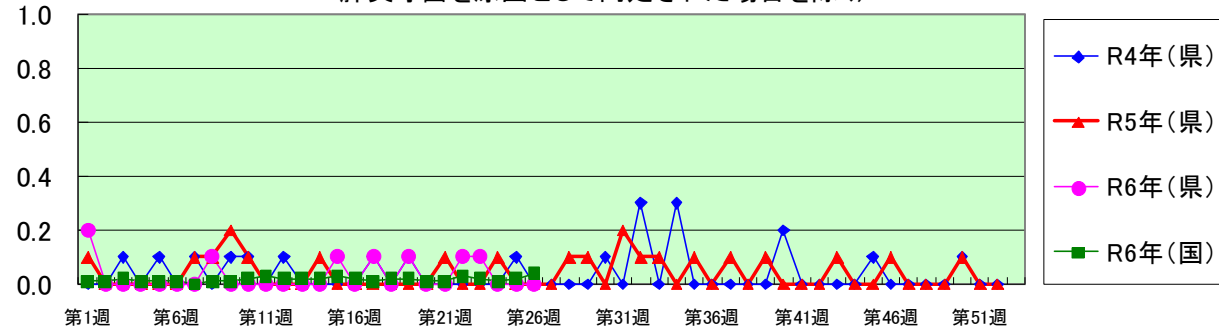
(定点当たり患者数)

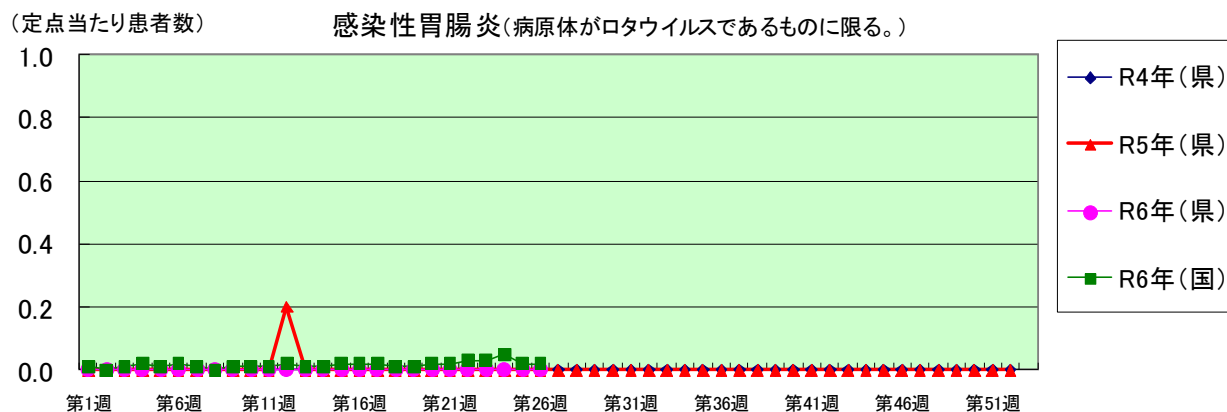
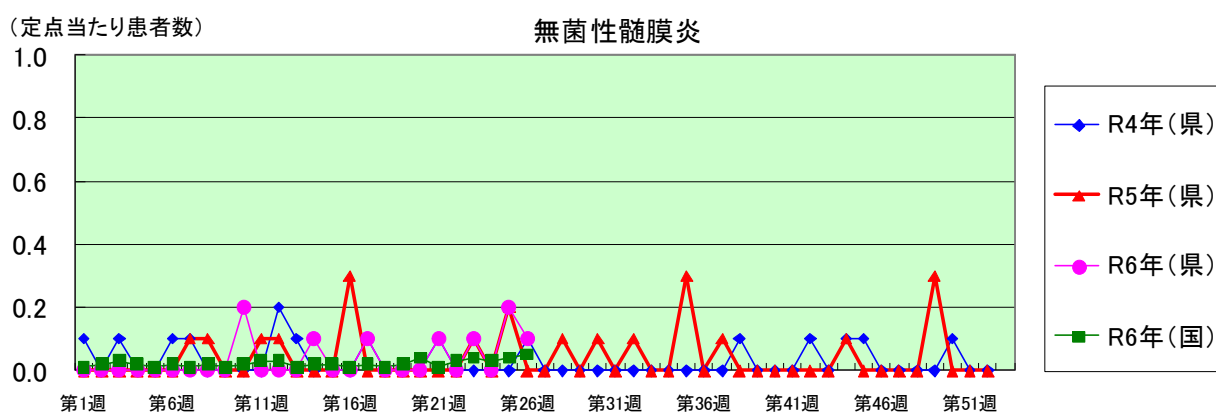
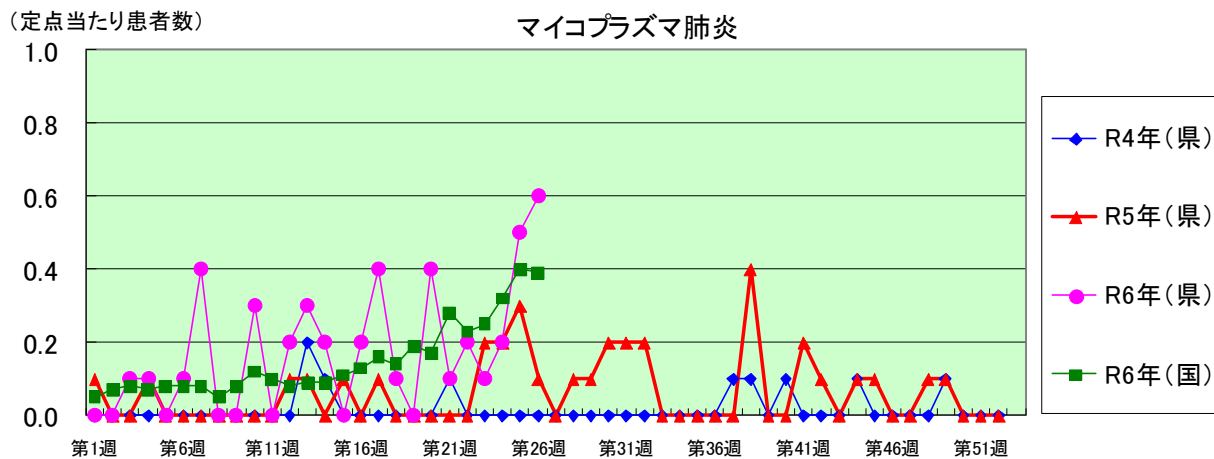
### クラミジア肺炎(オウム病を除く)



(定点当たり患者数)

### 細菌性髄膜炎(インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く)





定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病を除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

## 7 定点把握感染症集計表(月報)

### 定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2024年 5 月

	静岡県							全国				
	12月	1月	2月	3月	4月	今月	計	2月	3月	4月	今月	計
性器クラミジア感染症	53	61	56	54	58	48	330	2,346	2,466	2,443	2,522	9,777
性器ヘルペスウイルス感染症	18	19	16	13	17	14	97	743	807	857	844	3,251
尖圭コンジローマ	15	13	11	7	7	17	70	487	500	563	602	2,152
淋菌感染症	13	13	18	8	13	15	80	747	739	685	739	2,910
性器クラミジア感染症(男)	16	18	18	8	17	14	91	1,140	1,243	1,224	1,273	4,880
性器クラミジア感染症(女)	37	43	38	46	41	34	239	1,206	1,223	1,219	1,249	4,897
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	9	5	5	2	8	3	32	292	294	325	337	1,248
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	9	14	11	11	9	11	65	451	513	532	507	2,003
尖圭コンジローマ(男)	6	8	5	5	3	1	28	327	335	363	388	1,413
尖圭コンジローマ(女)	9	5	6	2	4	16	42	160	165	200	214	739
淋菌感染症(男)	9	9	8	6	8	13	53	537	528	528	546	2,139
淋菌感染症(女)	4	4	10	2	5	2	27	210	211	157	193	771
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	26	27	26	22	19	29	149	1,325	1,352	1,265	1,273	5,215
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								74	60	93	97	324
薬剤耐性緑膿菌感染症								7	4	3	9	23

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

## 定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2024年 5 月

	静岡県						全国			
	12月	1月	2月	3月	4月	今月	2月	3月	4月	今月
性器クラミジア感染症	1.77	2.03	1.87	1.80	1.93	1.60	2.40	2.52	2.50	2.58
性器ヘルペスウイルス感染症	0.60	0.63	0.53	0.43	0.57	0.47	0.76	0.82	0.88	0.86
尖圭コンジローマ	0.50	0.43	0.37	0.23	0.23	0.57	0.50	0.51	0.58	0.62
淋菌感染症	0.43	0.43	0.60	0.27	0.43	0.50	0.76	0.75	0.70	0.76
性器クラミジア感染症(男)	0.53	0.60	0.60	0.27	0.57	0.47	1.16	1.27	1.25	1.30
性器クラミジア感染症(女)	1.23	1.43	1.27	1.53	1.37	1.13	1.23	1.25	1.25	1.28
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	0.30	0.17	0.17	0.07	0.27	0.10	0.30	0.30	0.33	0.34
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	0.30	0.47	0.37	0.37	0.30	0.37	0.46	0.52	0.54	0.52
尖圭コンジローマ(男)	0.20	0.27	0.17	0.17	0.10	0.03	0.33	0.34	0.37	0.40
尖圭コンジローマ(女)	0.30	0.17	0.20	0.07	0.13	0.53	0.16	0.17	0.20	0.22
淋菌感染症(男)	0.30	0.30	0.27	0.37	0.27	0.43	0.55	0.54	0.54	0.56
淋菌感染症(女)	0.13	0.13	0.33	0.07	0.17	0.07	0.21	0.22	0.16	0.20
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	2.60	2.70	2.60	2.20	1.90	2.90	2.77	2.82	2.65	2.66
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							0.15	0.13	0.19	0.20
薬剤耐性緑膿菌感染症							0.01	0.01	0.01	0.02

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

2024年 5 月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	48	1.60	14	0.47	17	0.57	15	0.50
賀茂	-	-	...	-	-	-	-	-
熱海	3	3.00	-	-	1	1.00	2	2.00
東部	3	0.60	-	-	2	0.40	-	-
御殿場	5	5.00	1	1.00	1	1.00	-	-
富士	7	2.33	4	1.33	1	0.33	5	1.67
静岡市	6	1.00	4	0.67	2	0.33	-	-
中部	9	2.25	2	0.50	1	0.25	7	1.75
西部	11	2.20	2	0.40	3	0.60	-	-
浜松市	4	0.80	1	0.20	6	1.20	1	0.20

保健所名	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	29	2.90	0		0	
賀茂	3	3.00	-	-	-	-
熱海	1	1.00	-	-	-	-
東部	2	2.00	-	-	-	-
御殿場	-	-	-	-	-	-
富士	-	-	-	-	-	-
静岡市	14	7.00	-	-	-	-
中部	1	1.00	-	-	-	-
西部	4	4.00	-	-	-	-
浜松市	4	2.00	-	-	-	-

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂		1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2



## 定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(届出数)

2024年 5 月

年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					8	14	10	5	4	3	1	3					48
性器ヘルペスウイルス感染症					1	3	2				2	2	2	1		1	14
尖圭コンジローマ					1	5	4	2	2	1	1	1					17
淋菌感染症					2	2	2		2	2	2	2	1				15
性器クラミジア感染症(男)					1	7	1	1	1	1	1	1					14
性器クラミジア感染症(女)					7	7	9	4	3	2		2					34
性器ヘルペスウイルス感染症(男)											1	1	1				3
性器ヘルペスウイルス感染症(女)					1	3	2				1	1	1	1		1	11
尖圭コンジローマ(男)													1				1
尖圭コンジローマ(女)					1	5	4	2	2	1	1						16
淋菌感染症(男)					2	2	2		2	1	2	1	1				13
淋菌感染症(女)									1			1					2
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	1			1		1		1			2	2		1	19	29
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

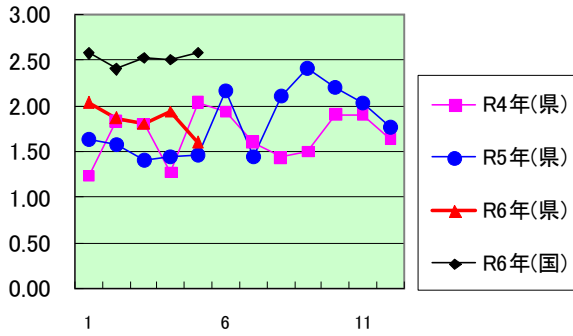
## 定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(定点当り)

2024年 5 月

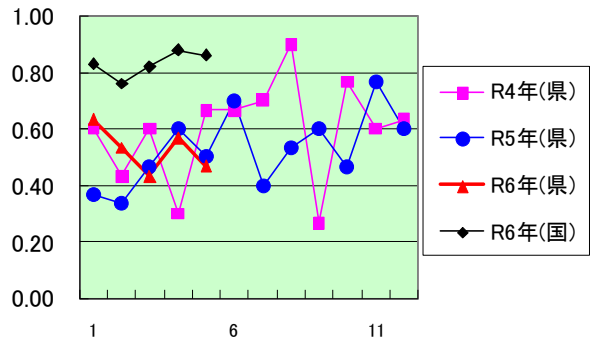
年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					0.27	0.47	0.33	0.17	0.13	0.10	0.03	0.10					1.60
性器ヘルペスウイルス感染症					0.03	0.10	0.07				0.07	0.07	0.07	0.03		0.03	0.47
尖圭コンジローマ					0.03	0.17	0.13	0.07	0.07	0.03	0.03	0.03					0.57
淋菌感染症					0.07	0.07	0.07		0.07	0.07	0.07	0.07	0.03				0.50
性器クラミジア感染症(男)					0.03	0.23	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03					0.47
性器クラミジア感染症(女)					0.23	0.23	0.30	0.13	0.10	0.07		0.07					1.13
性器ヘルペスウイルス感染症(男)											0.03	0.03	0.03				0.10
性器ヘルペスウイルス感染症(女)					0.03	0.10	0.07				0.03	0.03	0.03	0.03		0.03	0.37
尖圭コンジローマ(男)												0.03					0.03
尖圭コンジローマ(女)					0.03	0.17	0.13	0.07	0.07	0.03	0.03						0.53
淋菌感染症(男)					0.07	0.07	0.07		0.07	0.03	0.07	0.03	0.03				0.43
淋菌感染症(女)										0.03		0.03					0.07
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0.10	0.10			0.10		0.10		0.10			0.20	0.20		0.10	1.90	2.90
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

## 8 定点把握感染症推移グラフ(月報)

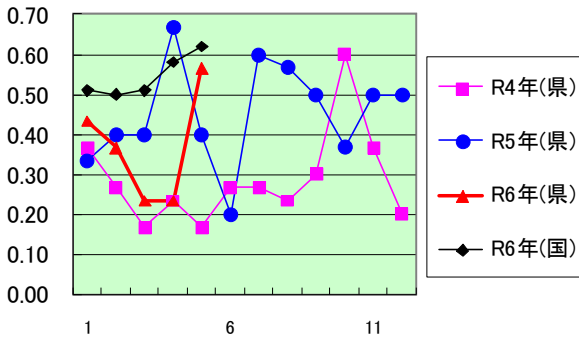
性器クラミジア感染症



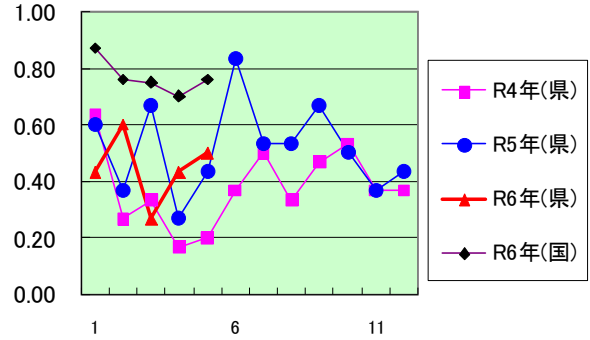
性器ヘルペスウイルス感染症



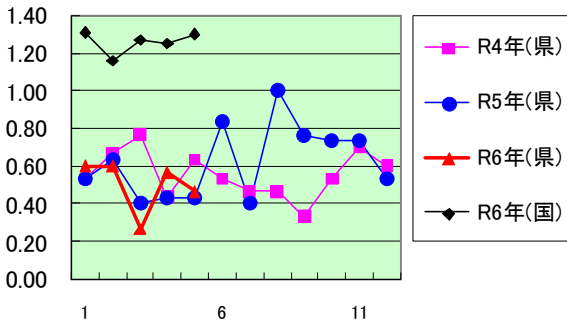
尖圭コンジローマ



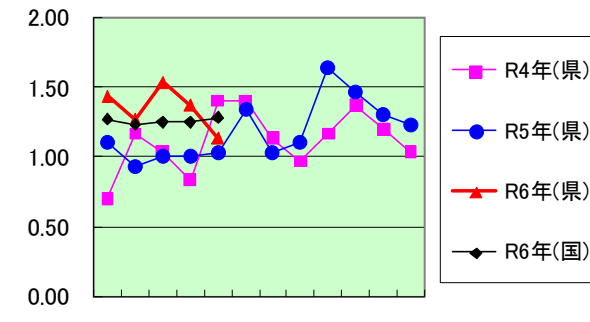
淋菌感染症



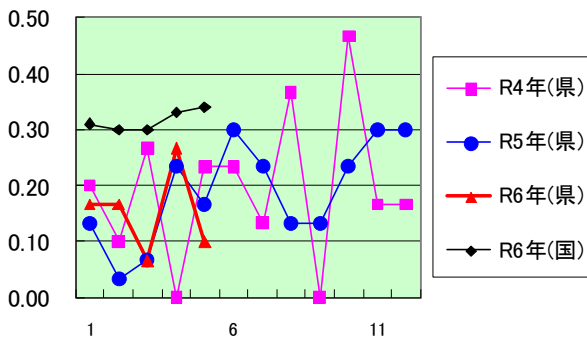
性器クラミジア感染症(男)



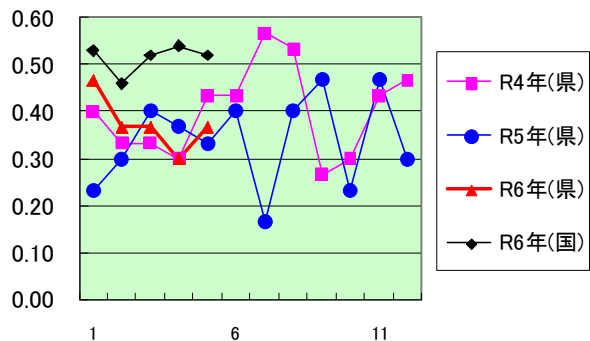
性器クラミジア感染症(女)



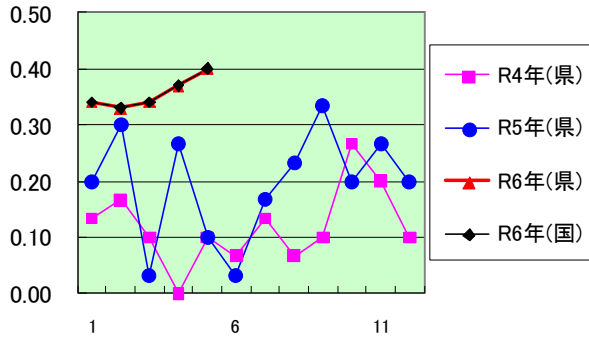
性器ヘルペスウイルス感染症(男)



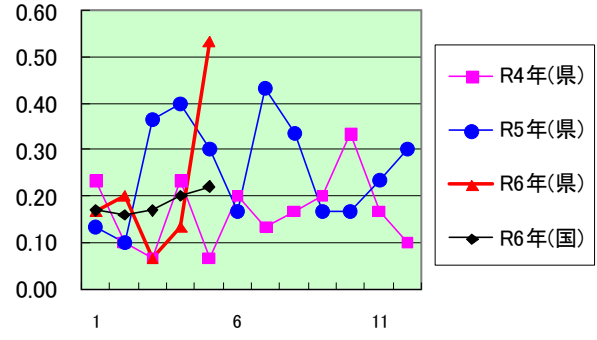
性器ヘルペスウイルス感染症(女)



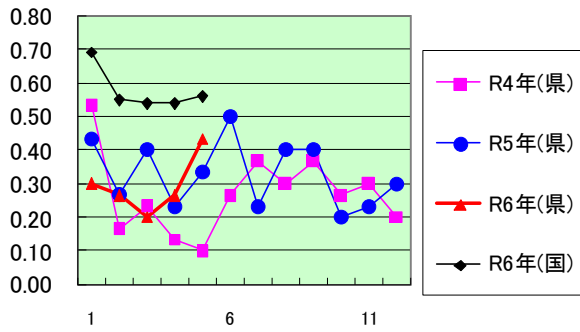
尖圭コンジローマ(男)



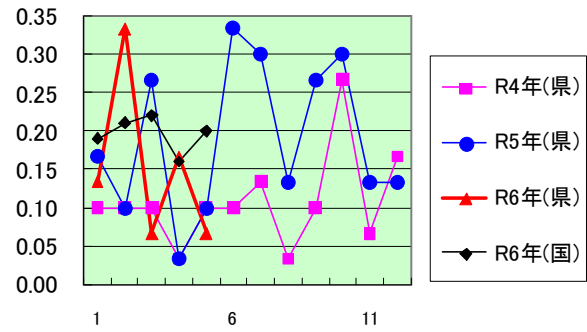
尖圭コンジローマ(女)



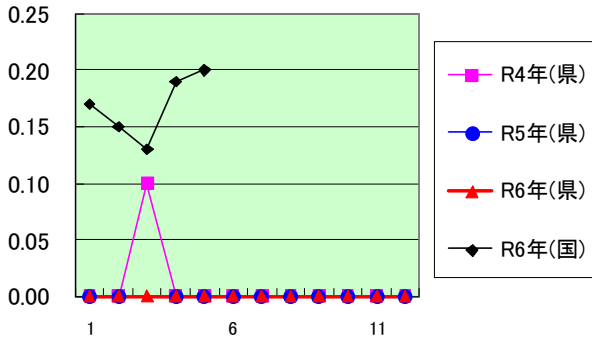
淋菌感染症(男)



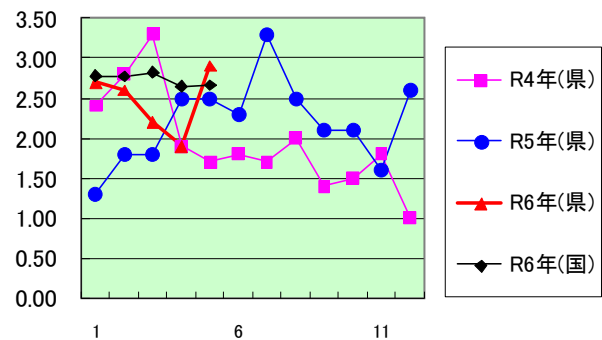
淋菌感染症(女)



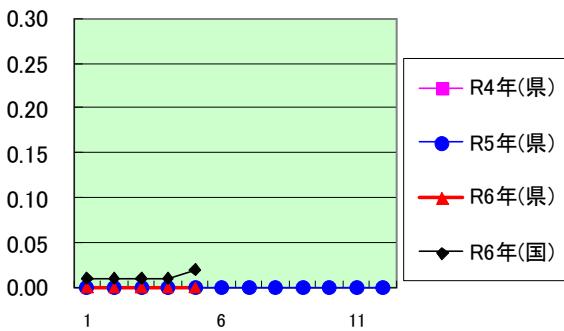
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症



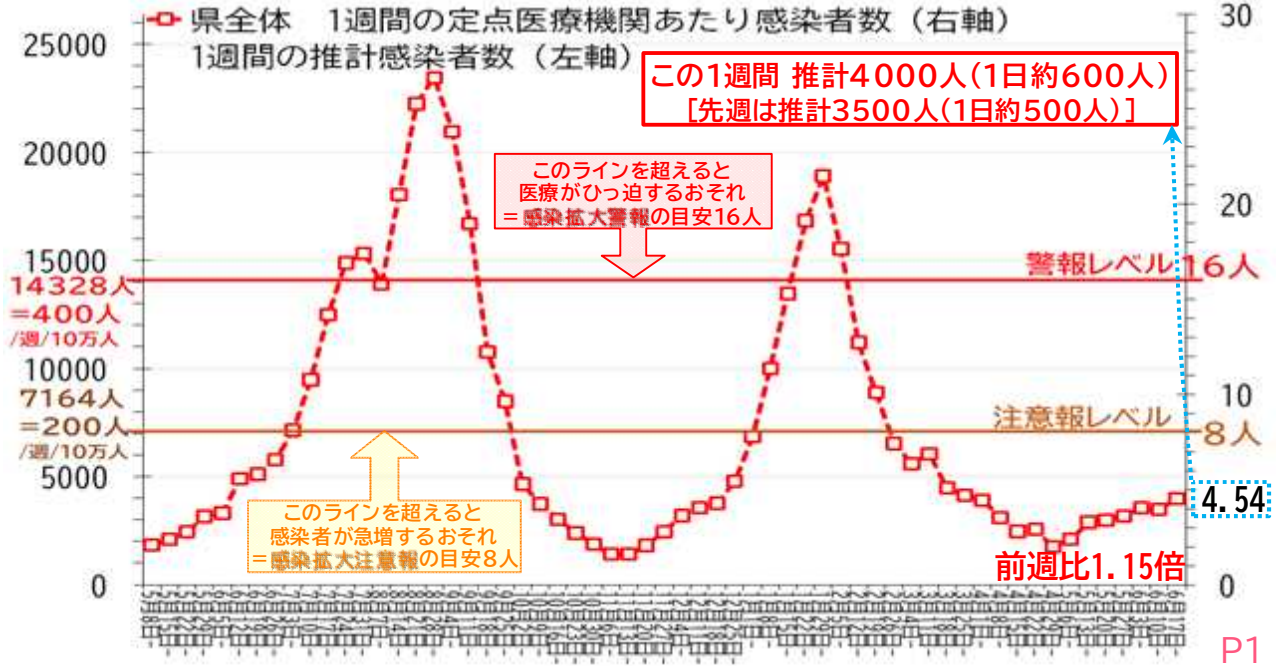
薬剤耐性緑膿菌感染症



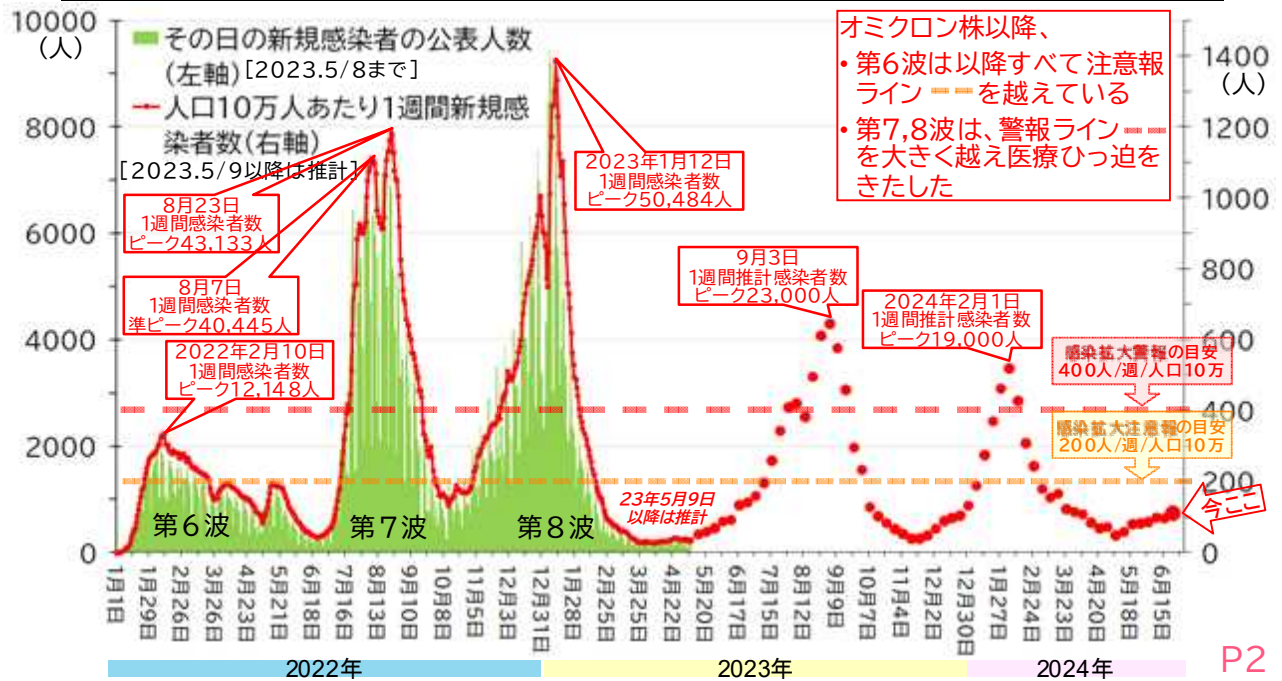
定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

## 9 本県の新型コロナ及びインフルエンザの感染状況の推移等のグラフ (今週の更新はありません)

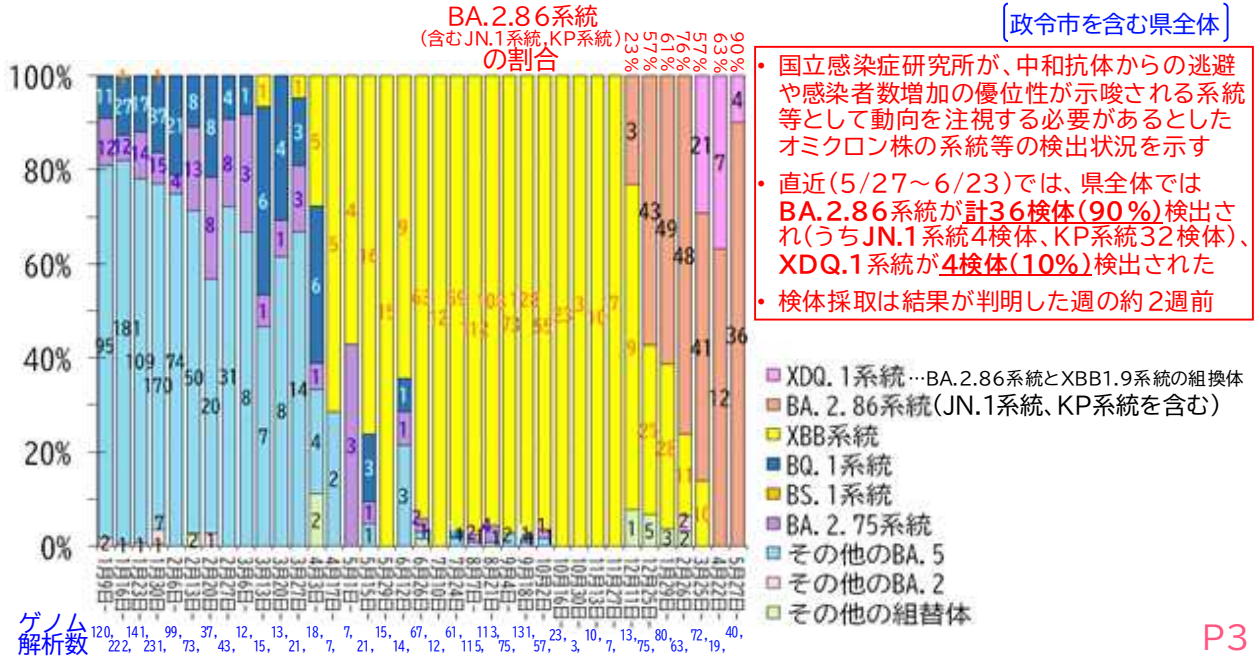
### 静岡県 新型コロナ 1週間感染者数(2023.5/8~2024.6/23)



### 静岡県 新型コロナ オミクロン株以降の感染者数の推移 (2022.1/1~2024.6/23)



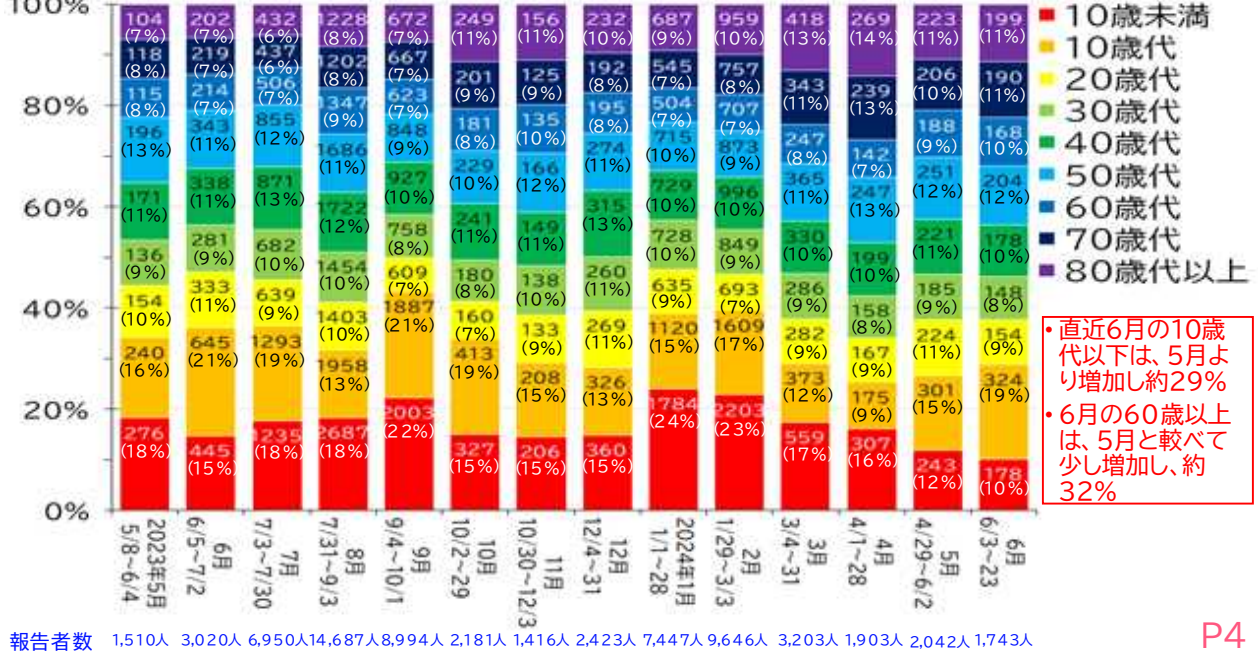
# 静岡県 新型コロナ オミクロン株の系統の状況 (2023.1/9~2024.6/23)



P3

※新型コロナのゲノム解析に関する項目については、当面の間、1か月に1回程度更新します。

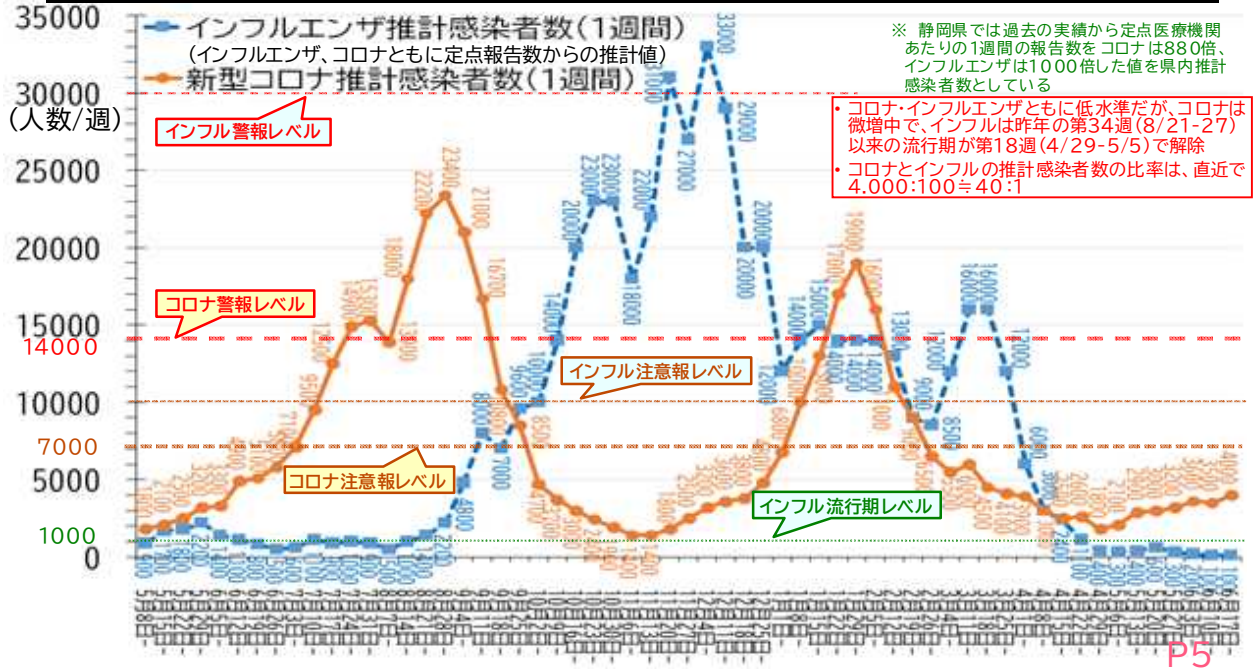
# 静岡県 新型コロナ 定点医療機関からの報告者数の年代別推移(2023.5/8~2024.6/23)



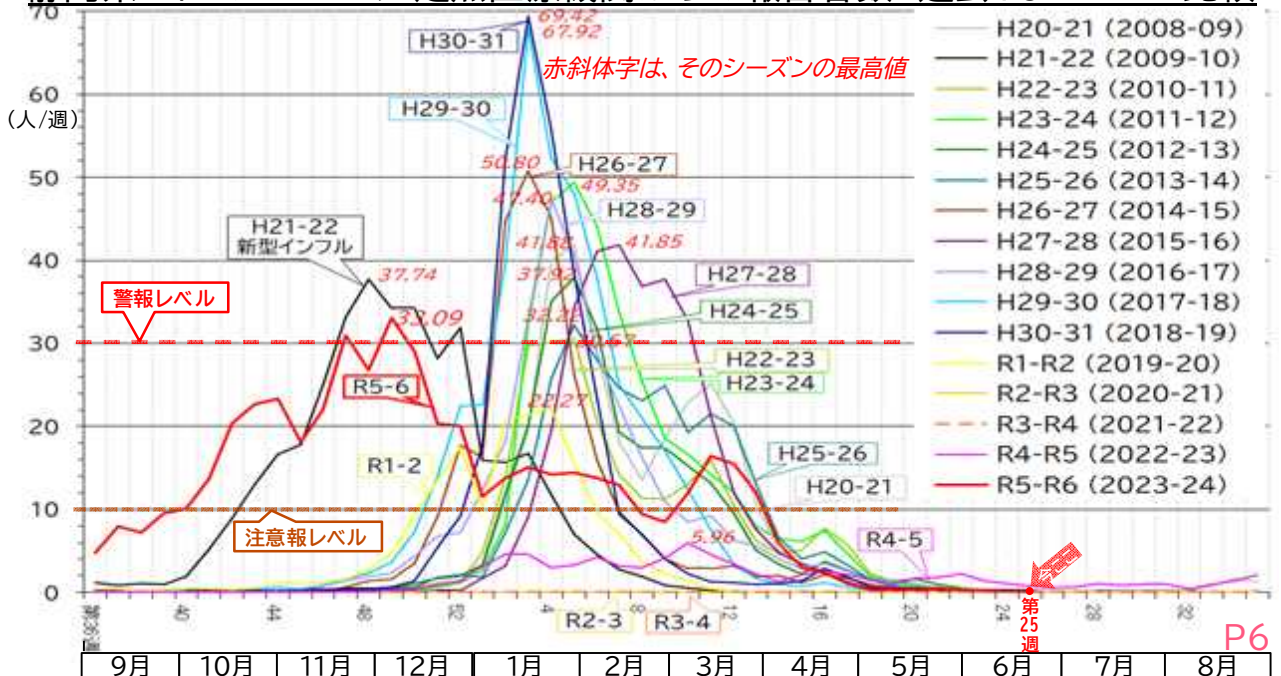
P4



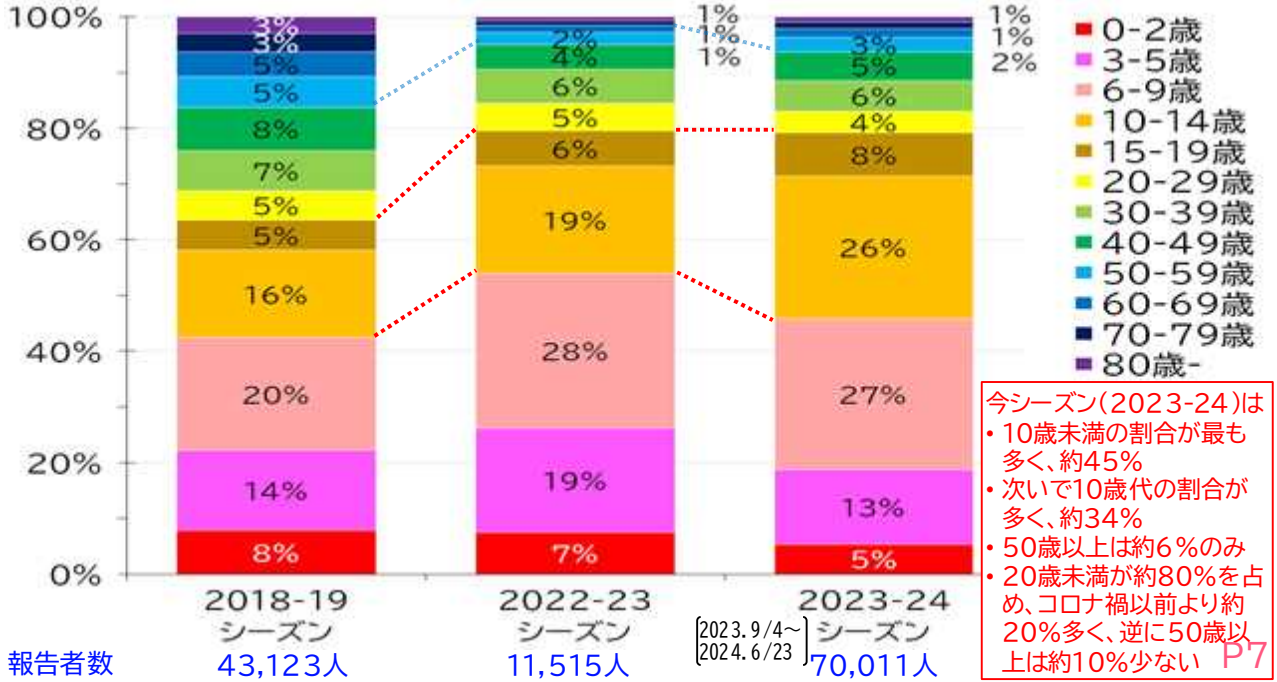
# 静岡県 新型コロナとインフルエンザの流行の状況 (2023. 5/8~2024. 6/23)



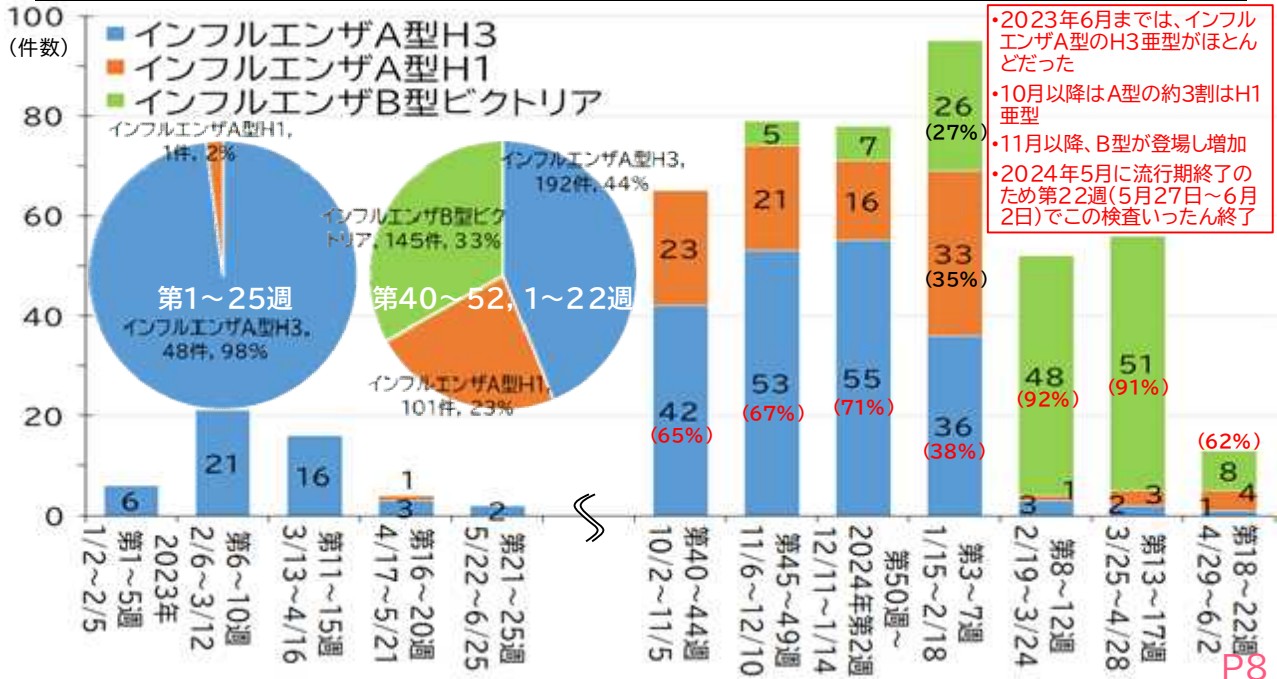
# 静岡県 インフルエンザ 定点医療機関からの報告者数 過去16シーズン比較



静岡県 定点医療機関インフルエンザ患者報告 年齢別割合(今季、昨季とコロナ禍前2018-19季の比較)



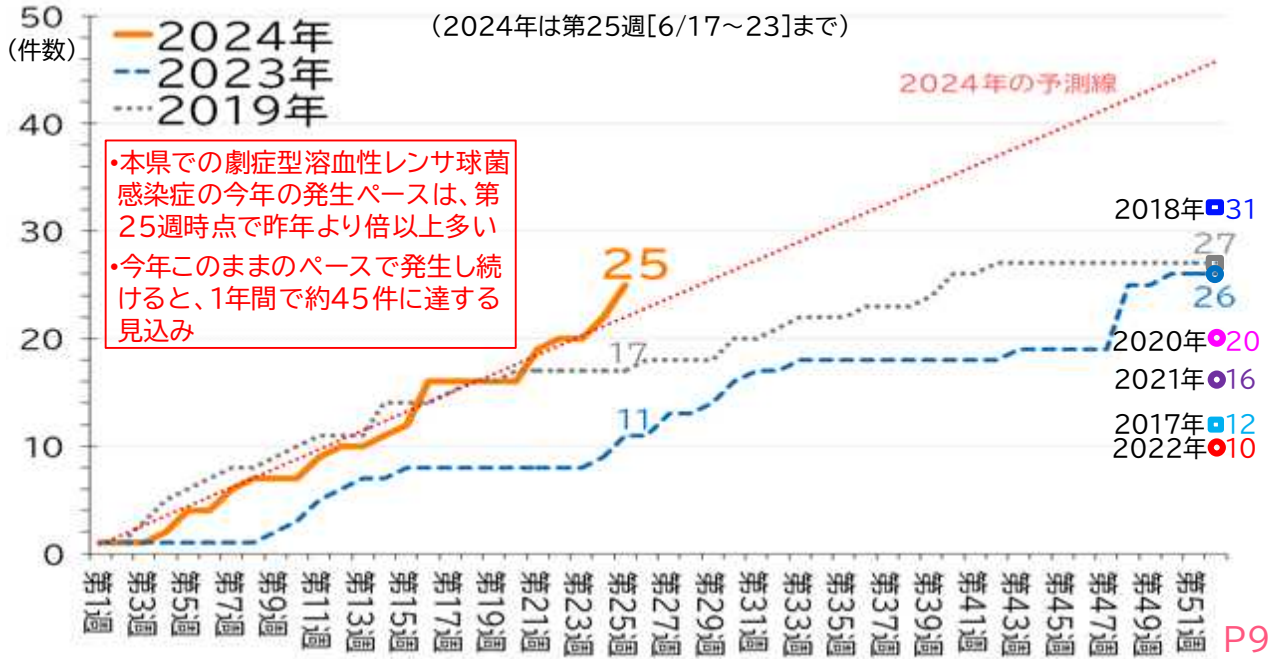
静岡県内衛生研究所(県、静岡市、浜松市) インフルエンザウイルス型別検出状況 (2023.1/2~2024.6/2)



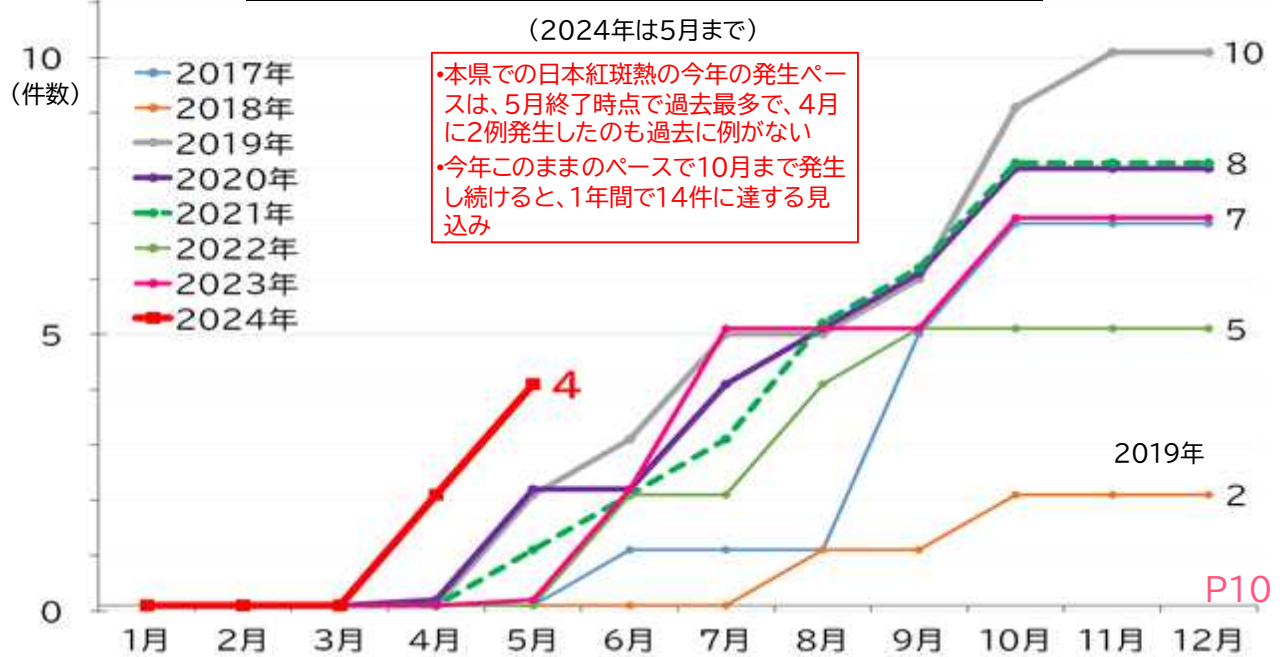
※インフルエンザの流行が終了したことから、検査結果は6月2日時点以降の更新はありません。



## 静岡県 年別 劇症型溶血性レンサ球菌感染症 発生届累積件数



## 静岡県 年別 日本紅斑熱 発生届累積件数



## 10 新型コロナ変異株ゲノム解析結果について

(5月27日(月)～6月23日(日)分の集計)

5月中旬～6月上旬に発症した方について、国立遺伝学研究所(三島市)において実施したゲノム解析の結果は、以下のとおりです。(県所管分)

(結果判明日：6月1日(土)・6月7日(金)・6月18日(火))

<変異株の件数>

保健所	賀茂	熱海	東部	御殿場	富士	中部	西部	合計
デルタ株	0	0	0	0	0	0	0	0
オミクロン株	0	0	0	0	0	0	13	13
	(内BA.2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(13)	(13)
	(内BA.5)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	(内組換体)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

### 本県の変異株の判明状況(6月23日時点)

		合計	県	静岡市	浜松市
合計 (デルタ株+オミクロン株)	判明者数	10,879	6,175	2,419	2,285
	(前回からの増加数)	(40)	(13)	(27)	(0)
デルタ株 (R3.5.16～)	判明者数	2,411	1,256	648	507
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
オミクロン株 (R4.1.1～)	判明者数	8,468	4,919	1,771	1,778
	(前回からの増加数)	(40)	(13)	(27)	(0)
※オミクロン株 【内、BA.2】	判明者数	1,688	831	484	373
	(前回からの増加数)	(40)	(13)	(27)	(0)
※オミクロン株 【内、BA.5】	判明者数	3,515	2,399	831	285
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
※オミクロン株 【内、組換体】	判明者数	825	482	106	237
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)

※県：国立遺伝学研究所および国立感染症研究所でゲノム解析を実施

静岡市：国立感染症研究所でゲノム解析を実施

浜松市：浜松市保健環境研究所でゲノム解析を実施

## 本県の変異株（オミクロン株）の判明状況（6月23日時点）

	オミクロン株判明数				全オミクロン株に占める割合		
	合計	内、BA. 2	内、BA. 5	内、組換体	BA. 2	BA. 5	組換体
11月27日（月）～ 12月10日（日）	7	0	0	7	0.0%	0.0%	100.0%
12月11日（月）～ 12月24日（日）	13	3	0	10	23.1%	0.0%	76.9%
12月25日（月）～ 1月28日（日）	75	43	0	32	57.3%	0.0%	42.7%
1月29日（月）～ 2月25日（日）	80	49	0	31	61.3%	0.0%	38.8%
2月26日（月）～ 3月24日（日）	63	50	0	13	79.4%	0.0%	20.6%
3月25日（月）～ 4月21日（日）	82	72	0	10	87.8%	0.0%	12.2%
4月22日（月）～ 5月26日（日）	19	19	0	0	100.0%	0.0%	0.0%
5月27日（月）～ 6月23日（日）	40	40	0	0	100.0%	0.0%	0.0%

## ゲノム解析結果の系統別判明数（政令市含む） （5月27日（月）～6月23日（日）判明分）

系統名※	判明数	割合
BA. 2. 75	0	0.0%
BS. 1	0	0.0%
BA. 4. 6	0	0.0%
BQ. 1	0	0.0%
XBB	0	0.0%
JN. 1	4	10.0%
KP	32	80.0%
XDQ	4	10.0%
その他	0	0.0%
計	40	100.0%

※国立感染症研究所「感染・伝播性の増加や抗原性の変化が懸念される新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の変異株について（第22報）」及び「新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の変異株 BA. 2.86 系統について 第2報」において、「ウイルス学的、疫学的、臨床的知見、国内外での発生状況の監視を継続する必要がある」とされている系統を掲載しています。

※新型コロナのゲノム解析に関する項目については、当面の間、1か月に1回程度更新します。